

令和 6 年度 事業のあらまし



一般社団法人首都圏産業活性化協会
TAMA協会 Technology Advanced Metropolitan Area

目次

1	■ 令和6年度「事業のあらまし」発刊にあたり
2	■ 沿革
2	■ 第七期中期計画（2024年～2026年）
3	■ イノベーション創出に向けた支援
15	■ 地域DX促進事業
18	■ イノベーション・プロデューサーによる活動支援実証事業【中小企業庁事業】
20	■ カーボンニュートラル事業
21	■ 海外展開事業
22	■ 政策推進の取組
24	■ 人材育成支援
25	■ TAMAコーディネーター制度
26	■ 情報ネットワーク
27	■ 地域連携推進
29	■ データで見る会員の推移と現状
31	■ 年表



令和6年度「事業のあらまし」発刊にあたり

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会 長 野長瀬 裕二

令和6年度は、第七期3か年計画(2024～2026年度)の初年度として、「首都圏の地域力を向上」をキャッチフレーズに、強固な産学官連携を推進することによる、地域企業の製品・サービスの開発力強化・市場拡大を支援し、我が国の経済発展に貢献すべく、力を注いで活動して参りました。

具体的には、南むさし・さがみ地域(特に横浜線沿線)振興の強化として、4月に「相模原サテライト」を設置し、また中央道の導線拡大(特に山梨県域との連携強化)においては、山梨中央銀行との人事交流・出向者受入等を行いました。

また、PRレポートを用いたマッチングのしくみ化については、大学研究室レポートの拡充(昨年度はモデル事例の検証)を図っております。

「自治体地域産業政策勉強会」についても、関東経済産業局・23区特別区長会との共催にて、定期的を開催するなど、地域連携推進活動の基盤づくりも継続しております。

さらに、中小企業庁が実施する「イノベーション・プロデューサー実証事業」においては、令和5年度に続き、昨年度も採択を受け、イノベーション・プロデュース活動の深耕・拡大を図って参りました。

混迷を極めるビジネス環境ではございますが、「楽しく、明るく、プロフェッショナルに」をモットーに、

「地域企業を最もよく知る」

×「地域自治体を最もよく知る」

×「地域大学を最もよく知る」を

“OUR CORE”と定め、地域に根差した産学官連携のプロフェッショナル集団としての自覚を忘れず、ビジネス機会創造に力を注いで参ります。

今後とも、より一層のお力添えを、どうかよろしくお願い申し上げます。

令和7年吉日

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会 長 野長瀬 裕二

第七期中期計画（2024～2026）

■【キャッチフレーズ】 首都圏の地域力を向上

強固な産学官連携を推進することにより、地域企業の製品・サービスの開発力強化・市場拡大を支援し、我が国の経済発展に貢献する。

■【課題】 自主事業の強化および収益化

■【アクションキーワード】

- ・イノベーション・プロデュース(IP)活動の深耕・拡大 KEEP・DEEP・WIDE → 中小企業庁事業に採択
- ・南むさし・さがみ地域の振興 → 相模原サテライト設置
- ・中央道の導線拡大 → 山梨中央銀行との人事交流開始(出向者受入)
- ・北関東地域振興 → 担当理事を通じ、推進中
- ・PRレポートを用いたマッチングのしくみ化 → PRレポートの拡充(大学研究室レポートにて検証中)
- ・海外拠点を有する会員企業を世界地図上にプロット (協会会員のGlobal展開マップを作成) → 準備中
- ・個人会員(コーディネーター)のセグメント → 中小企業庁採択事業を通じて、一部実施中

■【数値目標】

- ・会員数 750 (法人300)
→ 令和7年3月15日時点 会員数557 (法人279)
- ・個人会員(KPI) 登録300 認定コーディネーター100 実稼働(派遣)50

沿革

第一期 1998年～2002年 ネットワーク形成

インフラの整備を通じた産学官金ネットワークの構築

- 1998年 設立
4月 関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工団体により、任意団体「TAMA産業活性化協議会」が設立。当初の事務所は、八王子商工会議所の一角を借用してのスタートであった。
- 2000年 三鷹産業プラザへ事務所移転
- 2001年 社団法人化、八王子スクエアビルへ事務所移転
- 2002年 コーディネーター制度やネットワークによるプラットフォームを構築

第三期 2008年～2012年 環境ものづくり

環境と調和し環境と共生する「ものづくりクラスター」 として世界ブランド化をめざす

- 2008年 設立10周年、環境ものづくり支援事業・産学官金サミット開始
- 2009年 環境ものづくり大賞創設・海外展開支援の強化
- 2010年 一般社団法人化、首都圏西部地域広域基本計画策定。1都2県35市4町1村による広域協議会を設置し、地域での産業集積活性化を支援。
- 2011年 地域イノベーション戦略推進地域に選定
「首都圏西部SQOL (smart Quality of Life) 技術開発地域」
として選定される。

第五期 2018年～2020年 コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことのつながりを推進し ビジネス機会と人財が集まる場を形成する

- 2018年 設立20周年、異業種交流会(つなぐWaセッション)開始
知的財産人材育成支援事業開始、自治体政策勉強会の開始
- 2019年 技術経営大学(合同新入社員研修、専門講座)の開始
(独)中小企業基盤整備機構、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所との連携協定を締結
- 2020年 次世代トップリーダー育成講座の開始、金融機関勉強会の開始

第二期 2003年～2007年 研究開発・新事業創出

産学・産産連携の促進と連携による 新技術・新製品の開発新事業の創出

- 2003年 ベンチャー基金設立
- 2004年・2005年 海外クラスターとの交流開始
- 2006年 次世代経営者育成・若者ネットワークを構築
- 2007年 大手企業と中小企業の技術連携交流会開始

第四期 2013年～2017年 TAMAエコクラスター

環境配慮ものづくりエコクラスター (環境調和・ビジネス調和)の実現をめざす

- 2013年 TAMAブランド化推進事業、TAMAブランド企業認定開始
- 2015年 人材確保・定着事業強化、中核企業創出支援事業の推進
- 2017年 先端ものづくり・IoT普及による中核企業創出支援

第六期 2021年～2023年 脱平均！ワンランクアップ

3つのエリア(圏央道と交差する関越・中央・東名道)と 新たな分野の切り口により、イノベーションの創出をはかる

- 2021年 北関東産学官研究会(HiKaLo)と連携協定を締結
- 2022年 ㈱さがみはら産業創造センター(SIC)との連携協定を締結
- 2023年 台日産業技術合作促進会(TJCIT)との連携協定を締結

イノベーション促進に向けた支援

■ イノベーション創出に向けた取組

地域の中堅・中小企業の製品開発力の強化と市場の拡大並びに新規創業環境の整備を図ることを目的として、当協会では下記図のように3つのLayerに分け、ゆるやかな交流から個別支援の頻度を高め、イノベーションの創出に向けた取り組みを行いました。

Layer 3：創造

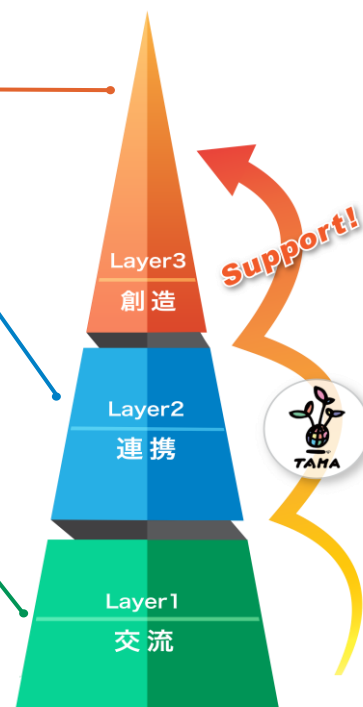
- 共同研究開発プロジェクトのハンズオン支援
- 知的&標準化戦略の支援
- 新技術・新製品・新サービスの創出支援

Layer 2：連携

- 会員企業の戦略策定に基づくマッチング支援
- 会員企業の個別課題についての解決提案
- 企業の製品・技術PRレポート、大学研究室レポートの作成・情報発信
- 産学官連携の支援、競争的資金の獲得支援
- 連携機関や協力機関のネットワークを活用した広域的なマッチング支援

Layer 1：交流

- つなぐWaSession（奇数月第4金曜開催）
- つなぐWaSession Global（偶数月第4月曜開催）
- 技術連携交流会（埼玉・東京・神奈川にて各年1回以上開催）
- イブニングサロン（各地で適宜実施）
- 大学や支援機関との共催イベントを随時開催
- 会員が主催するイベントへの後援



■ マッチングの基盤となるツール

(1) 「ワザ自慢・製品技術PRレポート」

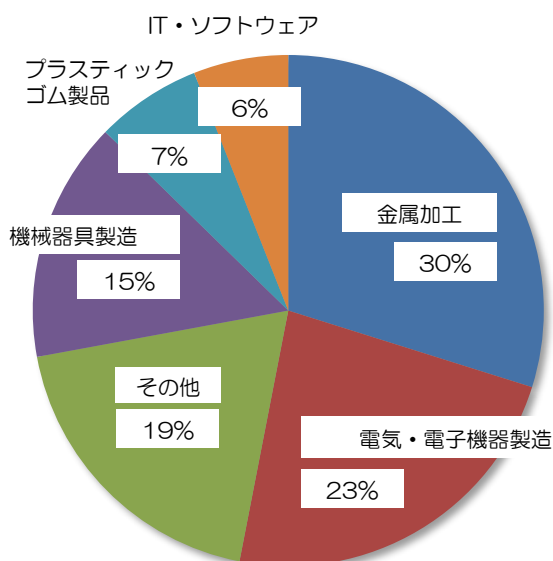
平成19年度（2007年度）から作成している全国中小企業の技術シーズ「製品・技術PRレポート」は、累計1,775社に達し、産産連携・産学連携のマッチング活動の基盤となっています。

今までに作成した中小企業の技術シーズ情報は、当協会ホームページにて公開しておりますので、企業・技術探索にご活用ください。

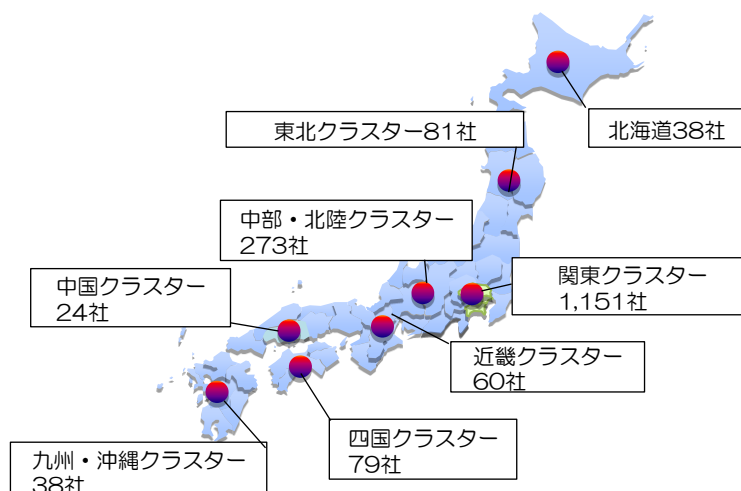


企業PRレポート
データベース

業種分類



地域分類



(2) 「つなぐWa2025特別号」

例年に引き続き、協会会員の皆様同士の連携促進を目的として、会員の皆様の1冊でご紹介した「つなぐWa2025特別号」を令和7年1月に発行しました。



PRレポート掲載社数： 会員企業211社

ご協賛いただいた皆様、心より御礼申し上げます。

(株)イチカワ、(株)イノウエ、(株)industria、(株)TOKAI精工、東京都中小企業振興公社、(株)菊池製作所、西武信用金庫、東京たま未来メッセ、(株)フォーバル、(株)ミラック光学、富士インフォックス・ネット(株)、(株)リガルジョイント、FAgent(株)、京西テクノス(株)、(株)サーテック、東京工科大学、東京中小企業投資育成(株)、(株)明晴インターナショナル、(株)ユニテックス、(株)レスカ、アイオワ州経済開発機構、(株)アドテックス、神奈川県立産業技術総合研究所、カネパッケージ(株)、久保井塗装(株)、(株)コスモ計器、(株)ソーケンメディカル、高瀬総合法律事務所、(株)立飛ホールディングス、多摩信用金庫、中西産業(株)、(株)ニコン日総プライム、(株)日刊工業新聞社、日本分析工業(株)、(株)ベストパートナーズ、税理士法人りんく、アイフォーコム(株)、(有)イングス、青梅信用金庫、大坪GSI(株)、かながわ経済新聞(同)、(株)キャリア・マム、(株)さがみはら産業創造センター、(株)シグマ工業、(株)商工組合中央金庫八王子支店、(株)ダイワ・エム・ティ、(株)東京IT経営センター、日本サーモニクス(株)、飯能信用金庫、武州工業(株)、(株)ミューテック35、(株)山梨中央銀行

(3) 「大学技術工房」

平成23年度から作成してきた大学研究者の技術シーズ集「大学技術工房」は、累計703件に達し、産学連携のマッチングの基盤となっています。

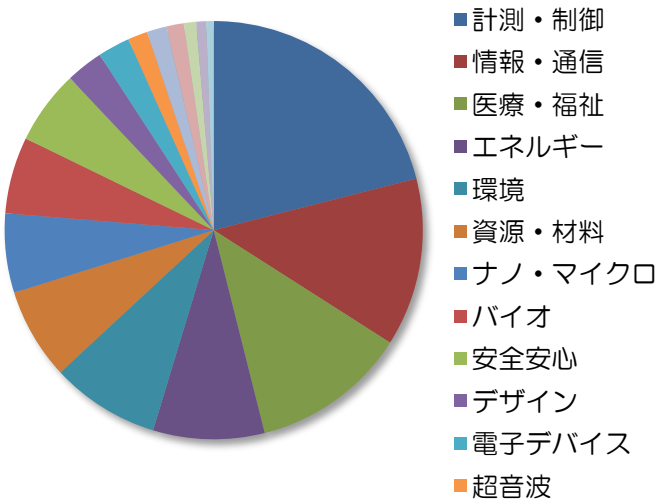
今までに作成した大学等の研究シーズ情報は、当協会ホームページにて公開しておりますので、大学の研究シーズ探索にご活用ください。



研究レポート
データベース

分野分類

掲載大学・機関



東京都立大学	52件
電気通信大学	88件
東京農工大学	80件
埼玉大学	82件
青山学院大学	84件
芝浦工業大学	59件
東洋大学	83件
明星大学	13件
実践女子大学	7件
東京都立産業技術研究センター	35件
産業技術大学院大学	10件
中央大学	1件
神奈川大学	3件
横浜国立大学	9件
日本原子力研究開発機構	97件

(4) 「埼玉県ロボット関連技術PRカード」（埼玉県より業務受託）

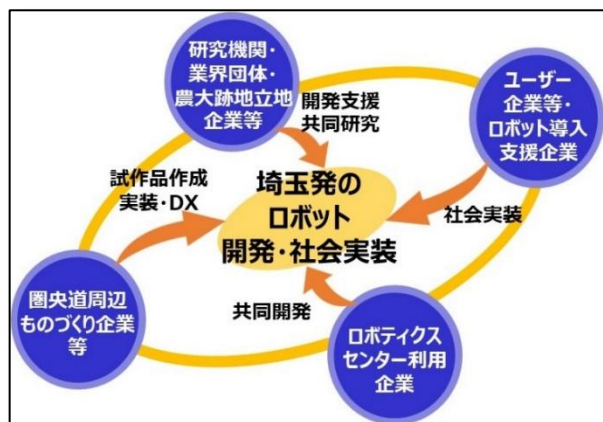
埼玉県は、圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺に市場規模拡大が見込まれる「社会的課題解決に資するロボット」開発を支援する「SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）」の整備を進めております。センター開業後を見据え、オープンイノベーションによるロボット開発を実践するために必要となるロボット開発関連企業の掘り起こしや技術等の把握及びロボット開発における実証実験環境の最新ニーズの把握を目的として、令和4年度より「ロボット関連技術PRカード（以下PRカード）」の作成・更新を行なっています。

令和6年度は新たに47社のPRカードを作成し、累計掲載社数は675社となりました。作成したPRカードは、埼玉県ロボティクスネットワークの特設ページにて公開されています。



埼玉県ロボティクスネットワーク
ロボット関連企業等データベース

活用イメージ



SAITAMAロボティクスセンター（仮称）整備予定地



(5) 「神奈川県ロボットデータベース」（神奈川県より業務受託）

株式会社MILIZE（東京都）が神奈川県より受託した「令和6年度ロボット開発企業と県内中小企業の受発注マッチングを行うための調査等」に共同体として参画しました。

事業内容

ロボットの部品等を供給できる神奈川県内中小企業と、有望なロボット開発企業とのマッチングを図ることで、県内中小企業のロボット産業への参入を促進する。

また、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所が行っているロボット研究会等の支援事業につなげる。

併せて、ロボット開発企業と県内中小企業の受発注マッチングを効率的に行うための企業情報／データの調査等を実施する。

実施内容

当協会では、主にデータベース登録に向けたシーズ企業へのヒアリング業務、ニーズ企業とのマッチング業務を担当するとともに、株式会社MILIZEで構築するデータベースの仕様について支援機関、産学官連携の立場から協力を行いました。

シーズ企業へのヒアリング実績： 31件

ニーズ企業へのヒアリング実績： 21件

マッチング実績： 33件

■ 研究会・会員ネットワーキング

(1) 令和6年度通常総会

会員が一堂に集まり、令和5年度の事業報告及び令和6年度の事業計画等について議案の決議を行うと共に、新たに入会いただいた会員のご紹介等、会員同士での情報共有や意見交換等を通じた「交流の場」として開催しました。

また同時開催企画として、会員交流会「つなぐWa Session 特別編」を開催しました。中小企業庁鮫島様より価格転嫁問題に係る中小企業の支援政策の動向をお話いただくと共に、吉本興業所属のお笑い芸人フランボネと藤田ゆみ様から「お笑いを通じた社会課題の解決」についてお話いただきました。

開催日時： 令和6年6月28日（金） 14:00 ～ 17:15

会 場： 八王子市学園都市センター 12階イベントホール
※オンライン（Zoom）併用（東京都八王子市旭町9-1）

内 容： <第1部> 議案についての進行、新入会会員のご紹介

<第2部> 会員交流会「つなぐWa Session特別編」

「価格転嫁問題にかかる現在の政策と今後の政策の動向」

中小企業庁 事業環境部 取引課長 鮫島 大幸 様

「お笑いを通じた社会課題解決」

吉本芸人フランボネ 様 ・ 藤田 ゆみ 様



(2) 令和7年新春講演会・賀詞交歓会

新春を迎えるにあたり、会員の皆様が一挙に会して交流を深める「新春講演会・新春会員交流会」を開催しました。プレゼンターにはお馴染みの、愛知淑徳大学の真田幸光教授をお招きし、激動する世界経済の中で日本企業が取るべき戦略についてお話いただきました。

開催日時： 令和7年1月10日（金） 17:00 ～ 20:30

会 場： 東京たま未来メッセ 展示ホール
（東京都八王子市八日町6-7）

※オンライン（Zoom）併用

内 容： <主催者挨拶>

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会長 野長瀬 裕二

<来賓ご挨拶>

経済産業省 関東経済産業局長 佐合 達矢 様

八王子市長 初宿 和夫 様

羽村市長 橋本 弘山 様

相模原市長 本村 賢太郎 様 （代理 副市長 奈良 浩之 様）

<新春講演会>

嘉悦大学 副学長

愛知淑徳大学 名誉教授 真田 幸光 様

「2025年の国際環境と経済の情勢」

～激動の世界経済における日本企業の取るべき戦略～

<新入会員のご紹介>

<首都圏産業活性化協会からのお知らせ>



(3) つなぐWa Session

会員が定期的集まることで仲間を増やし相互研鑽できるような場となり、協会活動への積極的な参加や期待を高めることを目的として、イブニングサロンと合わせて年14回（原則毎月）開催しました。

企業経営や地域経済、時事問題等に関するテーマを設定し、企業、大学関係者、支援機関、行政関係者、コーディネーター等にスピーチして頂き、参加者同士での情報共有や意見交換などを通じた「交流の場」として開催しました。



開催回	開催日	テーマ・会場	プレゼンター
第48回	令和6年 5月8日 (水)	「デザインの視点」 @八王子市生涯学習センター オンラインZoom併用	1) (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 守谷 貴絵 様 2) KOIKE TERUMASA DESIGN AND AEROSPACE 小池 輝政 様 3) マナブデザイン(株) 高橋 マナブ 様 4) エルグデザイン 二階堂 隆 様
特別編	令和6年 6月28日 (金)	「つなぐWa Session特別編」 @八王子市学園都市センター 12階イベントホール オンラインZoom併用	1) 「価格転嫁問題にかかる現在の政策と今後の政策の動向」 中小企業庁 事業環境部 取引課長 鮫島 大幸 様 2) 「お笑いを通じた社会課題解決」 吉本芸人フランボネ 様 ・ 藤田 ゆみ 様
第49回	令和6年 9月27日 (金)	「企業の強みを引き出す」 @相模原市立勤労者総合福祉 センター (サン・エールさがみはら) オンラインZoom併用	1) 「KISTECについてのご紹介」 (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 企画部経営戦略課 主任研究員 城田 はまな 様 2) 「SICについてのご紹介」 (株)さがみはら産業創造センター 事業創造部 イノベーション課長 金澤 信義 様 3) 「特別セミナー&ワークショップ」 ～企業の強みを引き出す～ (有)ルーマス 代表取締役 三井 豊久 様
第50回	令和6年 11月22日 (金)	「イノベーション人材の育成」 ～変化の激しい時代に対応する企業 体質を作る～ @ (株)エキサイター内 会議室 (日本橋浜町) オンラインZoom併用	1) 「無料で活用頂ける人材育成・BCPツールのご紹介」 東京海上日動火災保険(株) 西東京支店 法人営業支社 マネージャー 阿部 英二 様 2) 「未経験者の採用～育成、離職率について」 (株)エキサイター 代表取締役 山下 慎太郎 様 3) 「特別セミナー&ワークショップ」 ～企業の強みを引き出すPartⅡ～ (有)ルーマス 代表取締役 三井 豊久 様
特別編	令和7年 3月13日 (木)	「新たな市場を切り拓く！異業種から のロボット事業参入セミナー」 @ロボット企業交流拠点 『ロボリンク』（藤沢市） オンラインZoom併用	1) 「新たな市場を切り拓く！ 異業種からのロボット事業参入セミナー」 (株)アサイ・エンジニアリング 代表取締役 横浜国立大学 理工学部・大学院理工学府 非常勤講師 浅井 伸一 様
第51回	令和7年 3月28日 (金)	「春の余暇・休日をもっと楽しもう！」 @八王子市新産業開発・ 交流センター オンラインZoom併用	1) 「京王電鉄コラボ企画 第二弾『小説×街歩き』」 (株)休日ハック パートナースHIP事業部 部長 吉田 藍香 様 2) 「にわかメジャーファンが『メジャー通』に なるための知っておきたい10のここだけの話」 スポーツジャーナリスト 瀬戸口 仁 様



(4) つなぐWa Session Global

本会は2020新春「つなぐWa Session特別企画」にご登壇された3団体（ITEC・AIBS・NAP）が意気投合し、クローズドな意見交換会からスタートし、「海外ビジネス展開・人材活用」に関心の高い企業・研究者・支援者の方も自由にご参加頂けるオープンイベントとして年5回（原則偶数月第4月曜）開催しました。



開催回	開催日	テーマ・会場	プレゼンター
第5回	令和6年 4月22日 (月)	「外国人材が企業・組織の発展向上にどう貢献するか？」 @八王子市学園都市センター オンラインZoom併用	1) 「外国人材が企業・組織の発展向上にどう貢献するか？」 富士インフォックス・ネット株式会社 シニアマネージャー 宗像 宏治 様 2) 「高度外国人材のインターンプログラムについて」 グロービス経営大学院キャリアオフィス R production Inc. 代表 菊池 領子 様
第6回	令和6年 8月26日 (月)	「外国人材が企業のグローバル化にどのような貢献をしているか？」 @東京たま未来メッセ会議室 (八王子市) オンラインZoom併用	1) 「外国人材が企業のグローバル化にどのような貢献をしているか？」 アイフォーコム(株) 取締役 広川 正和 様 2) 「台湾企業との商談会」 第1弾「MEDICAL TAIWAN」のご報告 (株)コスモテック 代表取締役 高見澤 友伸 様 ほか 第2弾「国際航空宇宙展」第3弾「TAMA技術連携交流会」事務局より
第7回	令和6年 10月28日 (月)	「外国人材が企業のグローバル化にどのような貢献をしているか？」 @東京たま未来メッセ会議室 (八王子市) オンラインZoom併用	1) 「外国人材が企業のグローバル化にどのような貢献をしているか？」 カネパッケージ(株) 取締役 勝野 旭 様 2) 「情報共有 見本市TAMAパビリオン及び商談会について」事務局より
第8回	令和6年 12月23日 (月)	「海外ビジネス展開・人材活用」 @FUN+TECHLABO (ファンタステックラボ) (相模原市) オンラインZoom併用	1) 「FUN+TECHLABOのご案内」 東海旅客鉄道(株) 事業推進本部 神奈川県駅PT 課長代理 櫻井 俊 様 2) 「テーブルストレージが、地球の未来を救う！」 (株)ユニテックス 代表取締役 小杉 恵美 様
第9回	令和6年 2月25日 (火)	「チャンスは外からのみやって来る！」 @八王子市新産業開発・ 交流センター オンラインZoom併用	1) 「チャンスは外からのみやって来る！」 (株)コンテックス 代表取締役 近藤 千奈美 様 2) 「中堅・中小企業の海外展開をサポートする 『新輸出大国コンソーシアム』のご案内」 (独)日本貿易振興機構 海外展開支援部 主幹 高塚 一 様 3) 「海外展開における知的財産・ 英語を用いた交渉・契約の極意」 (同)ソアリス 代表 横山 理恵 様



(5) イブニングサロン

技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行うことによって、意欲的な企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「イブニングサロン」を各地で実施しました。各回さまざまなテーマのもと活発な意見交換を通して、地域を超えた連携が数々生まれました。



開催日	開催回・会場・テーマ	プレゼンター
令和6年 5月17日 (金)	第41回はむらイブニングサロン 「CAD/CAMは経営のツール」 ～生産性の更なる向上、 人材の早期育成、技術継承～ 第1部@羽村市産業福祉センター 第2部@コダマコーポレーション(株) 試作部・加工技術研究所 (協力：羽村市)	1) 「CAD/CAMは経営のツール」 ～生産性の更なる向上、人材の早期育成、技術継承～ コダマコーポレーション(株) 代表取締役社長 小玉 博幸 様 2) 試作部・加工技術研究所 施設見学
令和6年 9月19日 (木)	第1回昭島イブニングサロン 「混沌時代を勝ち抜くモノ作り戦略」 ～ユーザーあつての製造業～ (共催：昭島市商工会)	1) 「混沌時代を勝ち抜くモノ作り戦略」 ～ユーザーあつての製造業～ 事業構想大学院大学 特任教授／技術経営士の会 幹事 元トヨタ自動車(株) 専務取締役／ 元東京証券(株) 取締役副会長 岡部 聡 様
令和7年 2月21日 (金)	第42回はむらイブニングサロン 「企業防衛力強化！」 (協力：羽村市・福生市・青梅市・あきる野市・日野市・瑞穂町・日の出町・昭島市・羽村市商工会・福生市商工会・青梅市商工会議所・瑞穂町商工会・日の出町商工会・昭島市商工会・警視庁福生警察署)	1) 「組織を守るためのサイバーセキュリティ入門」 警視庁 サイバー犯罪対策本部 対策第二担当 2) 「中小企業向けガイドラインをフル活用！ 今すぐ始められる情報セキュリティ対策」 (一社)首都圏産業活性化協会 ITコーディネーター 小川 直樹 3) 「企業防衛のための法律知識を知ろう」 オンライン法律事務所タマ 弁護士 増田 周治 様

(6) 中小企業支援セミナー全8回シリーズ（日本コンベンションサービス株式会社より業務受託）

東京たま未来メッセは多摩地区の産業支援推進の一環として、中小企業の課題解決の糸口となるテーマ（主に企業経営に関わるテーマ）を取り上げてセミナーを全8回シリーズで開催し、当協会では各会のテーマ、講師の選定、広報、周知活動などを業務範囲とし受託し開催しました。

開催回	開催日	テーマ	プレゼンター
第1回	令和7年 1月22日 (水)	「カーボンニュートラル」	「カードゲームで体験する『2050年のカーボンニュートラルチャレンジ』ワークショップ」 (一社)脱炭素事業推進協議会 石井 美穂 様
第2回	令和7年 1月27日 (月)	「介護×テクノロジー未病産業」	「人とテクノロジーの共生による『2040年に向けた新しい介護』について」 SOMPOケア(株) Future care lab in Japan 副所長 主任研究員 芳賀 沙織 様 「神奈川県の未病イノベーションの取組と今後の展望」 神奈川県 政策局いのち・未来戦略本部室 未病産業担当部長 牧野 義之 様
第3回	令和7年 2月19日 (水)	「スマートモビリティ」	「自動運転バスを活用した地域公共交通への取り組みとまちづくりへの貢献」 (株)マクニカ イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 部長 福田 泰之 様、谷口 竣一 様
第4回	令和7年 2月27日 (木)	「半導体産業動向」	「変貌する世界の半導体エコシステムについて」 (独)日本貿易振興機構 調査部国際経済課 課長 伊藤 博敏 様
第5回	令和7年 3月4日 (火)	「価格転嫁交渉」	「成功事例で学ぶ！価格転嫁交渉の実践テクニック！」 (株)フォーバル 多摩プロジェクト 副部長 津幡 康二郎 様
第6回	令和7年 3月10日 (月)	「カーボンニュートラル対策」	「脱炭素経営で競争力UP今すぐ始めるカーボンニュートラルセミナー」 (独)中小企業基盤整備機構 関東本部 中小企業アドバイザー 高鹿 初子 様
第7回	令和7年 3月18日 (火)	「サイバーセキュリティ」	「“SaaS世界”のリスク分析手法と新しいセキュリティ対策について」 (株)マクニカ ネットワークスカンパニー営業統括部 コーポレートビジネス部 第一課 窪 航二郎 氏
第8回	令和7年 3月24日 (月)	「カーボンニュートラル」	「カードゲームで体験する『2050年のカーボンニュートラルチャレンジ』ワークショップ」 (一社)脱炭素事業推進協議会 石井 美穂 様

(7) 埼玉県ロボティクスネットワークセミナー・研究会（公益財団法人埼玉県産業振興公社より業務受託）

埼玉県産業振興公社では、県内中小企業等のロボット開発及び社会実装への取組を支援するために、企業の相談対応のほかセミナー、研究会等を開催しています。ロボット産業への参入を促すため、ロボット開発に係る知見の習得を目指すセミナー及び参加者間のマッチングや企業間連携による事業化等を目指す研究会について企画・運営しました。

令和6年度埼玉ロボネット分野別研究会 物流・搬送編 @新都心ビジネス交流プラザ（埼玉県さいたま市）

日 時： 令和6年7月8日（月）13:30～17:00 形 式： 集合開催のみ

内 容： 「ドローン物流の最新動向」

東京大学 未来ビジョンセンター 特任教授／
（一社）日本UAS産業振興協議会（JUIDA）理事長／
福島ロボットテストフィールド 所長 鈴木 真二 様

「物流ドローンの社会実装と型式認証」

イームズロボティクス㈱ 代表取締役社長 曾谷 英司 様

「㈱椿本チエインの概要及び物流分野における取組みについて」

㈱椿本チエイン マテハン事業部 営業統括 第一営業部 部長 藤田 義昭 様

「グループ別ワークショップ・名刺交換会」



令和6年度埼玉県ロボティクスセミナー 介護・福祉編 @ウエスタ川越（埼玉県川越市）

日 時： 令和6年9月10日（火）13:30～16:40 形 式： 集合開催・オンデマンド動画配信

内 容： 「SAITAMAロボティクスセンター（仮称）・埼玉ロボネットについて」

埼玉県 産業労働部 次世代産業拠点整備担当

「介護現場におけるロボット技術の利用」

埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授 琴坂 信哉 様

「高齢・障害者福祉のニーズを踏まえた製品開発、留意点」～利用者の視点から～

（公財）テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 様

「高齢者施設における介護ロボット導入の実態・意向およびニーズについて」

～4力年にわたる調査研究結果から～

（一社）埼玉県老人福祉施設協議会 理事／介護ロボット等を活用した調査研究プロジェクトチーム
委員長／特別養護老人ホーム良宝園 施設長 戸嶋 靖浩 様

「自動車運転補助装置と移動用リフトの開発」

㈱ミクニライフ&オート 執行役員 オート事業部 事業部長 佐藤 勝彦 様

「テクノロジーを活用した新たな排泄ケアの提案、実践事例を通じて」

NECプラットフォームズ㈱ ビジネスイノベーション統括部

シニアエキスパート 三重野 勤 様



令和6年度埼玉ロボネット分野別研究会 介護・福祉編（第1回）@新都心ビジネス交流プラザ（埼玉県さいたま市）

日 時： 令和6年10月31日（木）13:30～17:00 形 式： 集合開催のみ

会 場： 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室（埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2）

内 容： 「現場ニーズの掘り起こしと出口を見据えた機器開発」

（公財）テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 様

「介護ロボットへの期待と現場で直面している課題」

社会福祉法人親愛会 理事長 渋谷 宏明 様

「現場ニーズに沿った介護・福祉ロボットの開発～厚労省受託事業からの経験～」

コニカミノルタ㈱ FORXAI事業統括部 QOLソリューション事業部 事業戦略部

戦略企画グループ アシスタントマネージャー／スマート介護士(Expert) 関 泰彦 様

「グループ別ワークショップ・名刺交換会」



令和6年度埼玉ロボネット分野別研究会 介護・福祉編（第2回）@新都心ビジネス交流プラザ（埼玉県さいたま市）

日 時： 令和7年2月19日（水）13:30～17:00 形 式： 集合開催のみ

会 場： 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室（埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2）

内 容： 「介護ロボット・ICTの効果的な活用について」～福祉現場における業務改善と生産性向上に向けて～

（国研）日本医療研究開発機構 アドバイザー／（公財）かながわ福祉サービス振興会 事業推進部長
得永 真人 様

「異分野連携・支援機器開発プロジェクトで生まれるアイデアと課題」

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 研究員 眞野 明日香 様

「介護職員負担の少ない高齢者見守りロボットの開発と展望」

沖電気工業㈱ クロスインダストリー事業推進センター 深澤 伸一 様

「介護ロボットSASUKEの開発・導入への取組」

マッスル㈱ ヘルスケア事業開発部長 尾形 成美 様

「グループ別ワークショップ・名刺交換会」



■ マッチング商談会

(1) TAMA技術連携交流会@八王子 ー交流そして連携、創造に向けてー

中小企業庁「令和6年度 中小企業のイノベーション創出を支援するイノベーション・プロデューサー」事業
公益財団法人日本台湾交流協会の「令和6年度日台産業協力架け橋プロジェクト助成」事業

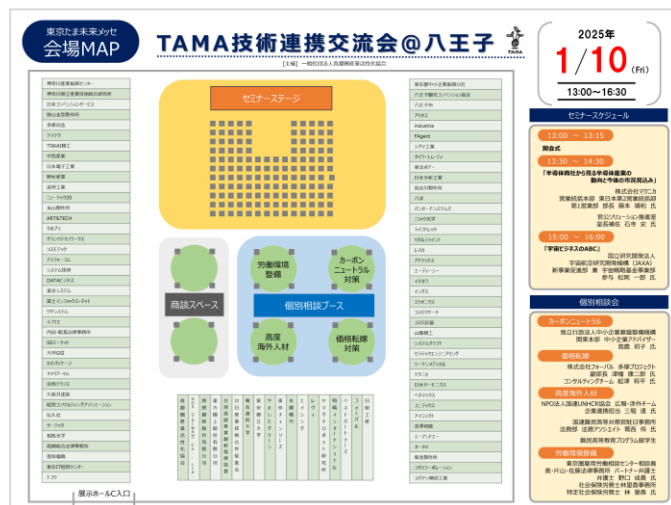
会員のみなさまの交流の場として、ポスター展示会「TAMA技術連携交流会@八王子」を開催しました。協会の試みで「製品・技術PRレポート」のポスター100社分を展示し、それを囲みながら活発な意見・情報交換がなされました。同時開催企画として「令和6年度中小企業のイノベーション創出を支援する『イノベーション・プロデューサー事業』の成果発表会、「令和6年度日台産業協力架け橋プロジェクト助成」事業の日本企業と台湾企業のマッチング会を開催しました。また、東京たま未来メッセ前の広場「えきまえテラス」を活用した屋外イベントも開催しました。

開催日時 : 令和7年1月10日(金) 13:00~16:30

会場 : 東京たま未来メッセ 展示ホールC (東京都八王子市明神町3-19-2)

主催 : (一社)首都圏産業活性化協会

ポスター掲示 : 100社



<併設イベント>

業界セミナー

「半導体商社から見る半導体産業の動向と今後の市場見込み」

株式会社マクニカ 営業統括本部
東日本第2営業統括部 第1営業部 部長 藤本 靖和 様
高官ソリューション推進室 室長補佐 石寺 史 様

「宇宙ビジネスのABC」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
新事業促進部兼宇宙戦略基金事業部 参与 松岡 一郎 様



個別相談会

事前登録制にて会員企業様の個別相談会を4つのテーマにてサポートしました。

- ・カーボンニュートラルデスク
(専門家: 中小企業基盤整備機構)
- ・価格転嫁デスク
(専門家: 株式会社フォーバル)
- ・高度海外人材デスク
(専門家: 国連UNHCR協会)
- ・労働環境整備デスク
(専門家: 東京圏雇用労働相談センター)

屋外イベント

東京たま未来メッセ前の広場「えきまえテラス」を活用した屋外イベントを開催しました。



東京チェーンソー
森デリバリー



やましたグリーン
もらえる植物園



ルートブレイン
農業IoTのコンセプト
展示・農産物販売

(2) 埼玉県「ロボット関連技術PRカード」を活用したマッチング商談会（埼玉県より業務受託）

埼玉県は、圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺に市場規模拡大が見込まれる「社会的課題解決に資するロボット」開発を支援する「SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）」の整備を進めています。センター開業後を見据え、オープンイノベーションによるロボット開発を実践するために必要となるロボット開発関連企業の掘り起こしや技術等の把握及びロボット開発における実証実験環境の最新ニーズの把握を目的として、令和4年度より「ロボット関連技術PRカード（以下PRカード）」の作成・更新を行なっています。

作成したPRカードを活用し、ロボット関連ビジネスの受発注につながるニーズ調査及びマッチング商談会を企画・運営しました。

開催日時：令和6年12月2日（月）13:00～17:00

形式：対面のみ

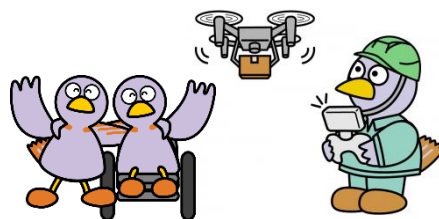
会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室
（埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2）

重点テーマ：下記、社会課題支援6分野
「農林水産」「建設・点検・保守」
「物流・搬送」「移動・モビリティ」
「介護・福祉」「ホテル・外食」

公開ニーズ：5社 13件

参加者数：20社

面談件数：26面談



**「ロボット関連技術PRカード」を活用した
マッチング商談会**

埼玉県が運営する「埼玉ロボティクスネットワーク（略称：埼玉ロボネット）」会員を対象に、「ロボット関連技術PRカード」を活用したマッチング商談会を開催します。

日時 2024年12月2日（月）13:00～17:00
※1面談あたり40分、上記時間内で面談予定。

形式 対面開催（個別面談）

会場 新都心ビジネス交流プラザ 4F会議室
埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2
（JR北与野駅前、JRさいたま新都心駅徒歩8分）

対象 マッチング商談を希望する埼玉ロボネット会員
※埼玉ロボネット会員の皆さまへ、ニーズ情報をメールにてお送りします。
※埼玉ロボネットに未入会の方は以下URLから入会登録をお願いします。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/network/boshu.html>
※ロボット関連技術PRカード未作成の場合は作成のご連絡をさせていただきます。
※埼玉県内企業を優先させていただきます。

エントリー方法 「ロボット関連技術探索カード」内の「エントリーシート欄」に必要事項にご記入の上、メール（宛先：prcard-mil@tamaweb.or.jp）にてご送付ください。（詳細は裏面参照）
※提出期限：11月20日（水）まで
※面談可否につきましては、11月27日（水）までにご連絡を上げます。
※採率制企業をご提案頂いた内容を精査して面談企業を選定するため、ご希望に沿えない場合がございます。予めご了承ください。

主催 埼玉県 産業労働部次世代産業振興課
業務受託事業者 一般社団法人首都圏産業活性化協会 042-631-1140 ※prcard-mil@tamaweb.or.jp

(3) TAMA技術連携@KISTEC

日本のものづくり産業の活性化に取り組む（一社）首都圏産業活性化協会と神奈川県内の産業界に精通している（地独）神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）、（公財）神奈川県産業振興センター（KIP）と連携し、食品関連などの大手企業の課題と中小企業の技術をつなぐ「技術連携交流会」としてクローズ形式でマッチング会を開催致しました。

開催日時：令和6年12月13日（火）9:30～15:30

形式：対面・オンライン併用

会場：神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）
海老名本部
（神奈川県海老名市下今泉705-1）

主催：（一社）首都圏産業活性化協会

共催：（地独）神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）
神奈川県R&D推進協議会
（公財）神奈川県産業振興センター（KIP）

テーマ：「食」

参加社数：ニーズ提供企業2社
シーズ提供企業11社（内プレゼン企業4社）



大手企業とのマッチング会

**TAMA技術連携交流会
@KISTEC**

参加費 無料

日時 2024年12月3日（火）午後（予定）

会場 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 海老名本部 + オンライン
（住所：神奈川県海老名市下今泉705-1）
※現地に行けない方はオンラインを検討しますのでお申し付けください

内容 日本のものづくり産業の活性化に取り組む一般社団法人首都圏産業活性化協会と神奈川県内の産業界に精通している地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）、公益財団法人神奈川県産業振興センター（KIP）と連携し、食品関連などの大手企業の課題と中小企業の技術をつなぐ「技術連携交流会」としてクローズ形式でマッチング会を開催致します。

大手企業から ご提供されたニーズシートの内容を確認

自社（企業連携含む）の製品・技術にて課題解決できる内容を シーズシートに記入

TAMA協会へ 提出（※切10/15）

ニーズ提供先と協議の上、マッチング会を行います（11月中旬に最終案内）

主催 一般社団法人首都圏産業活性化協会

共催 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所
神奈川県R&D推進協議会
公益財団法人 神奈川県産業振興センター

・ ※シーズシート送付先 tcs@tamaweb.or.jp

＜お問い合わせ・お申込み＞
一般社団法人首都圏産業活性化協会 担当：松尾
協会H/P: <https://www.tamaweb.or.jp>

TEL 042-631-1140
MAIL tcs@tamaweb.or.jp

■ 展示会（TAMA協会ゾーン・共同出展）

各種展示会でTAMA協会ゾーン（各社独立したブースで隣接したレイアウト）の作成や共同出展（共同ブースでスペースをシェア）を行い、出展企業への送客や販路拡大、企業間連携などのご支援を行いました。

（1）スマートファクトリーJapan2024

- 主催： 日刊工業新聞社
会期： 2024年9月18日（水）～9月20日（金）
会場： 東京ビッグサイト 東ホール
企画協力： かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会
内容： 会場内に「TAMA協会ゾーン」を設置し、企業4社と共に出展。
共同出展： グランツテクノワークス(株)、(株)テクニカ、(株)バイオネット研究所、(株)バルキー・インフォ・テック



（2）2024国際航空宇宙展

- 主催： 一般社団法人日本航空宇宙工業会、(株)東京ビッグサイト
会期： 2024年10月16日（水）～10月19日（土）
会場： 東京ビッグサイト 西展示棟
内容： 会場内に「共同出展ブース」を設置し、企業8社に出展。
共同出展： 梅原モデル(株)、エクストコム(株)、(株)オータマ、(株)光佐（スリーディーソクテイドットコム）、(株)TOKAI精工、(株)トコウ、(株)八洋、山下電装(株)



■ 展示会（協会PR・マッチング支援）

（1）新技術創出交流会

- 会期： 2024年10月23日～10月24日
会場： 東京たま未来メッセ
主催： (公財)東京都中小企業振興公社
内容： 当協会ブースを出展し協会PRと、産産・産学連携促進等を実施。



（2）中小企業 新ものづくり・新サービス展2024

- 会期： 2024年12月4日～12月6日
会場： 東京ビッグサイト 東7・8ホール
主催： 全国中小企業団体中央会
委託元： 日本コンベンションサービス(株)
内容： 日本コンベンションサービス(株)より下記3業務を受託し現地にて業務対応。
①出展企業巡回フォロー業務： 416社
②マッチング相談窓口業務： 36件
③バイヤー向け出展企業提案業務： 27社へ128件提案



（3）第2回 たま未来産業フェア

- 会期： 2025年1月17日～1月18日
会場： 東京たま未来メッセ展示ホールA～D
主催： 多摩イノベーションエコシステム実行委員会
委託元： 日本コンベンションサービス(株)
内容： 日本コンベンションサービス社より下記2業務に関し受託し現地にて業務対応
①出展企業巡回フォロー業務： 139社
②マッチング相談窓口業務： 48件



(4) 彩の国ビジネスアリーナ2025

会 期： 2025年1月22日～ 1月23日
会 場： さいたまスーパーアリーナ スタジアムモード
主 催： 埼玉県、埼玉県産業振興公社、埼玉県情報サービス産業協会、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、埼玉県信用保証協会
内 容： 当協会ブースを出展し協会PRと、産産・産学連携促進等を実施。



(5) テクニカルショウヨコハマ2025

会 期： 2025年2月5日～ 2月7日
会 場： パシフィコ横浜展示ホールA・B・C
主 催： (公財) 神奈川産業振興センター、(一社) 横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市
内 容： ①当協会ブースを出展し協会PRと、産産・産学連携促進等の実施。
②神奈川産業振興センターより受託し、主催者特別展示コーナーにおいて、生成AI体験コーナーの運営等実施。



■ 大学見本市出展者ヒアリング調査（国立研究開発法人科学技術振興機構より業務受託）

(国研) 科学技術振興機構（以下JSTという）主催『大学見本市～イノベーションジャパン』とは、全国の大学等の技術シーズを一堂に集めて企業へ紹介することにより、技術移転等で研究成果の社会還元を促進する国内最大規模の産学連携マッチングイベントです。

JSTが開催した『大学見本市～イノベーションジャパン』において、出展から現在に至る産学連携の実績があった大学等シーズ展示の出展研究者に対し、マッチング後の成果や展開を具体的に把握することを目的としたヒアリング調査を実施しました。

今回は『大学見本市2024～イノベーションジャパン』の出展研究者より3人の研究者を選定し、ヒアリング調査を行いました。



大学見本市2024～イノベーションジャパン概要

主 催： (国研) 科学技術振興機構 共 催： 文部科学省
期 間： 令和6年8月22日～23日 出展者数： 310ブース

ヒアリング調査概要

期 間： 令和6年11月22日 ～ 令和7年3月31日
対 象： 「大学見本市2024～イノベーションジャパン」に出展した全国の大学機関研究者
件 数： 3人の大学研究者へのヒアリングを実施



DX自主事業

令和5年度までの概要

当協会は経済産業省「地域DX促進活動支援事業」の採択を受け、「首都圏ものづくりDX推進コミュニティ」を構築し、地域中小企業の労働生産性向上を目的として、課題分析・戦略策定支援、ITベンダー等とのマッチング、DX推進支援を実施しました。令和5年度はさらに「サイバーセキュリティ対策拡充型」も採択され、攻めと守りの両面を意識した支援を展開しました。加えて、工作機械の稼働率向上システム開発（DXつながる機械ネットワーク事業）にも取り組みました。

令和6年度の主要活動

企業支援の拡大

新規支援企業追加（多摩防水技研(株)等）と継続支援企業（東京電子(株)・日新技研(株)・(株)industria等）のフォロー

生成AI活用促進

神奈川県立産業技術研究所（KISTEC）と連携し、テクニカルショウヨコハマで生成AIワークショップを実施

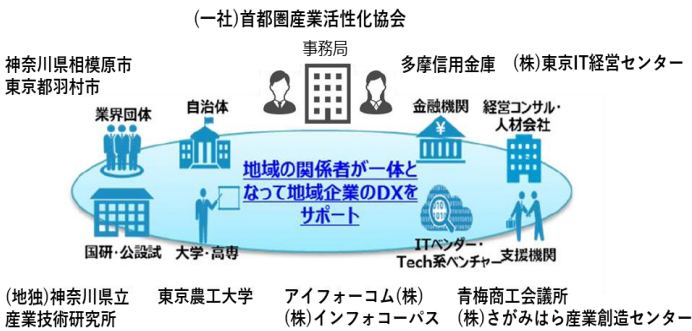
コミュニティ活動

DXセミナー／無料相談／有料個別支援の提供と定期連絡会議・活動報告会の実施

セキュリティ支援

相模原市、羽村市等へのセキュリティ対策支援の実施

地域DX促進事業の連携・協力体制



支援企業の成果ハイライト

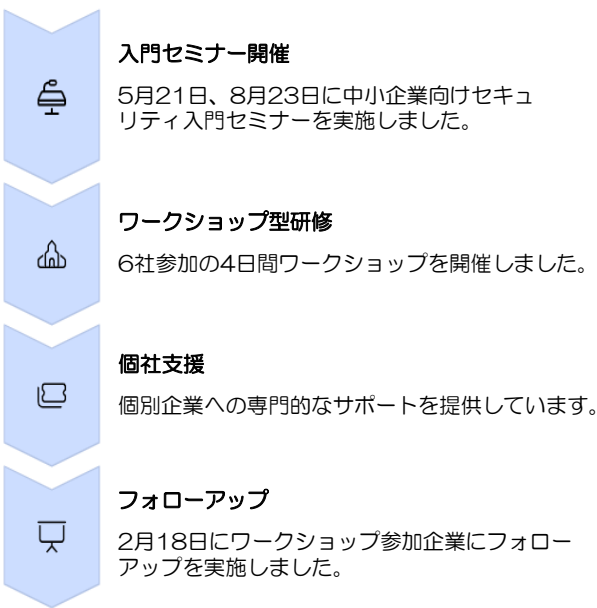
企業名		成果	今後の方向性
1	A社	24時間稼働・稼働率80%達成、情報セキュリティ体制構築完了	AI活用による生産性向上、情報セキュリティリスク評価の継続
2	B社	作業計画の可視化、タブレット・クラウド活用推進	各工程間の統合、紙媒体併用の運用最適化
3	C社	ペーパーレス化推進、クラウド会計への移行	AI受注予測の精度向上
4	D社	労働生産性向上、勤怠管理効率化、EDI選定中	新製品の市場拡大、EDI導入完了
5	E社	基幹システム・SFA導入に着手、要件定義実施	DX効率化体制の確立
6	F社	DX戦略アップデート、共通EDI導入	AI画像検査の普及、外部連携強化
7	G社	労働生産性向上、自社製DXツールの強化	DXツール活用、オンライン化の強化
8	H社	デザインレビュー制度化でスループット改善	リードタイム短縮、生産現場拡張に有効なDX施策導入
9	I社	ホームページリニューアル、Webマーケティングによるアクセス数増加	Web広告などによる新規顧客獲得
10	J社	ホームページリニューアル、アクセス分析ツールの導入	Webマーケティング人材の育成

■ サイバーセキュリティ

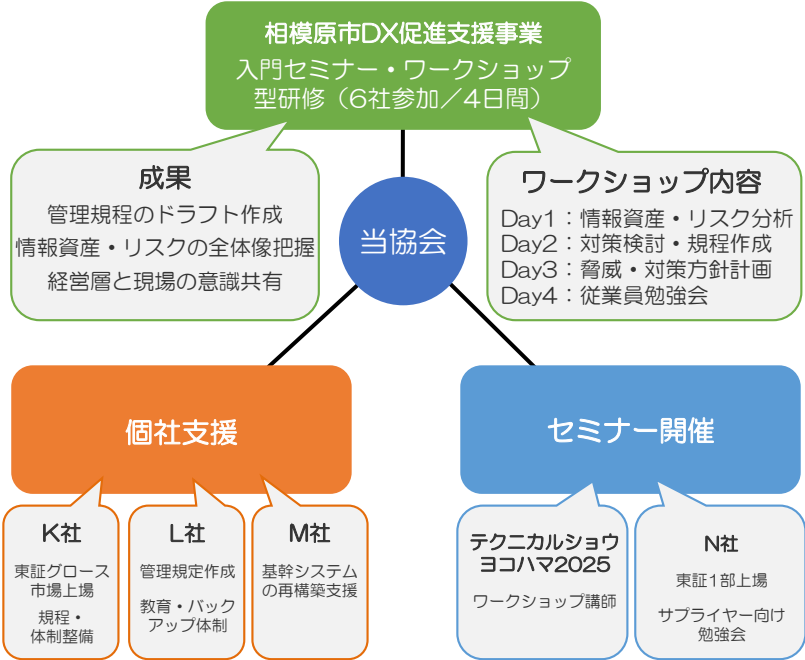
令和5年度までの概要

当協会は、経済産業省「令和4年度補正 地域DX促進事業（サイバーセキュリティ対策拡充型）」の採択を受け、中小企業のサイバーセキュリティ対策強化支援を実施。集合研修および専門家派遣により、「SECURITY ACTION」二つ星取得、管理規程および実行計画の策定を支援しました。

令和6年度の活動の流れ



令和6年度の主要活動



ワークショップ型研修の成果

三 情報資産・リスクの全体像把握

参加企業が自社の情報資産とリスクを体系的に把握できました。

📄 経営層と現場の意識共有

各社が管理規程のドラフトを作成し、改善点を整理しました。

🔊 経営層と現場の意識共有

セキュリティに関する共通理解が経営層と現場で進展しました。

🔍 経営層と現場の意識共有

専門家の助言により、各社の社内ルール策定の方向性が明確になりました。

個社支援の成果

支援内容	主な成果	今後の方向性
物流サービス業K社 情報セキュリティマネジメント体制構築	実効性ある管理規程・体制整備、リスク分析・対策	計画の定着、継続的改善
食品卸売業L社 BtoC販売に伴う情報セキュリティマネジメント強化	管理体制表および管理規程作成、教育計画策定	教育実施、バックアップ体制強化、定着
中堅製造業M社 基幹システムの再構築支援	情報セキュリティ管理体制整備、基幹システムの再構築のための要求事項の整理	基幹システムの再構築に向けたRFPの作成、ソリューション及びベンダー選定の支援
大手製造業N社 サプライヤー向け教育	情報セキュリティ基礎・最新脅威共有、業界課題を意識した実践例紹介	参加企業の行動変容および継続的教育動機付け

■ 生成AI活用促進事業

本事業の概要

(地独)神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）による生成AI活用促進事業の一環として、神奈川県内の中小企業を対象に、TAMA協会が専門家派遣を実施しました。企業の生成AI活用に向けた理解促進・活用イメージ形成、業務改善および中核人材育成を目的として、6社を支援しました。

専門家による支援の流れ



候補企業の発掘及び事前説明

- ・事前セミナーの開催（1日）
- ・事前説明および支援テーマ検討



1回目：現状把握

- ・各社の強みと業務の棚卸し
- ・生成AIの試行導入の対象業務決定



2回目：生成AIの試行実験の実施

- ・試行導入の準備
- ・試行導入の実施と結果の評価



3回目：チューニングと改善

- ・プロンプトのチューニングと改善
- ・社内導入に向けた注意点の説明

対象業務の例

O社 管理会計 (粗利分析) 「生成AIによる得意先・商品別売上・粗利分析」	P社 営業 (議事録作成) 「得意先との打ち合わせの録音データから営業報告書の自動生成」	Q社 記事作成 「インタビュー取材時の録音データを文字起こしし、記事を作成」
R社 過去の設計情報のナレッジ化 「過去の設計情報から新人教育用のFAQの抽出」	S社 環境法令対応 「自社の事業および製品に影響のある環境法令の自動調査」	T社 設計・製造 「過去と今回の電気部品表を比較して、設計変更部分を自動検出」

KISTEC受託 - 生成AI専門家派遣事業の成果



活用イメージ形成

全参加企業が生成AIの具体的な活用方法を理解



業務改善効果

6社全てが業務効率化を実感



人材育成効果

社内展開できる中核人材の重要性を認識

テクニカルショウヨコハマ2025「生成AI活用体験コーナー」の運営

KISTEC生成AI活用促進事業の経験とノウハウを基に、「テクニカルショウヨコハマ2025」の主催者特別展示コーナーにて「生成AI活用体験コーナー」を設置しました。ここでは、中小製造業の経営者・担当者を対象に、生成AIの業務活用の理解促進と具体的な活用イメージの形成を目的としたミニセミナー、体験エリア、相談コーナーを一体的に運営し、神奈川県の専門家派遣やデジタル化助成事業への参加促進を図りました。

【活動内容】

- ・ミニセミナー（1時間ごと×8回×3日間）
- ・体験コーナー（AIツール操作体験、実務応用デモ）
- ・相談コーナー（専門家による個別相談・助成事業案内）
- ・アンケート実施（45件回収／名刺交換130名）

【活動成果】

- ・セミナー参加者数：約150名
- ・アンケート回答数：約100名
- ・名刺交換数：約130名
- ・専門家派遣相談件数：8社

生成AI活用体験コーナー



Case1.
データ分析でビジネスを加速



Case2.
コンテンツの自動生成



Case3.
顧客対応業務への応用



Case4.
特許調査・法令調査への応用



Case5.
日常の繰り返し業務を削減



Case6.
VR活用による事業成長

イノベーション・プロデューサーによる活動支援実証事業 【中小企業庁事業】

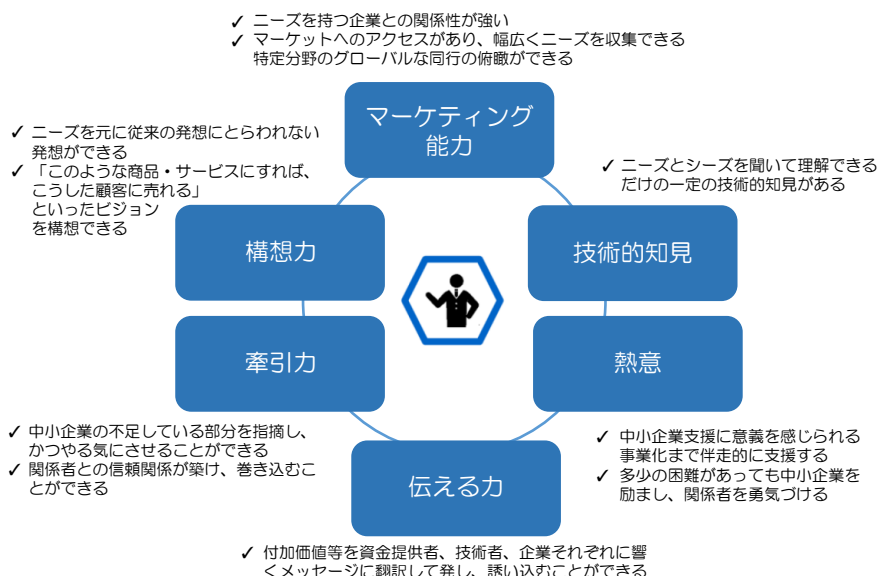
事業の目的（中小企業庁募集要項より）

中小企業の稼ぐ力を強化し成長につなげるという観点で、イノベーションは大幅な成長をもたらす有力な手段の一つです。イノベーションを創出し、新製品・新サービスを生み出すためには、自社の強みの認識・言語化を行うとともに、既存事業の関係先以外のニーズを探索し、得られたニーズと自社の強みの間を往復しながら新製品・新サービスの構想・具体化を行い、差別化戦略を構築する機能が必要であり、こうした機能を補完又は中小企業に代わって提供する支援策が求められています。

中小企業庁では、イノベーションの創出を目指す成長志向型の中小企業を対象として、こうした機能を補完又は中小企業に代わって提供し、新製品・新サービスの創出を支援する「イノベーション・プロデューサー」のモデルとなる者及びそのチーム等を募集します。選定された実証事業者には、自身の活動をさらに拡大させ、中小企業と共に新製品・新サービスを生み出し、イノベーションの創出ができるかを実証していただきます。

また、中小企業によるマーケットインでのイノベーション創出促進に向けた各種調査や検討及び実践に積極的に協力していただきます。

イノベーションプロデューサーの備えるべきケイパビリティ

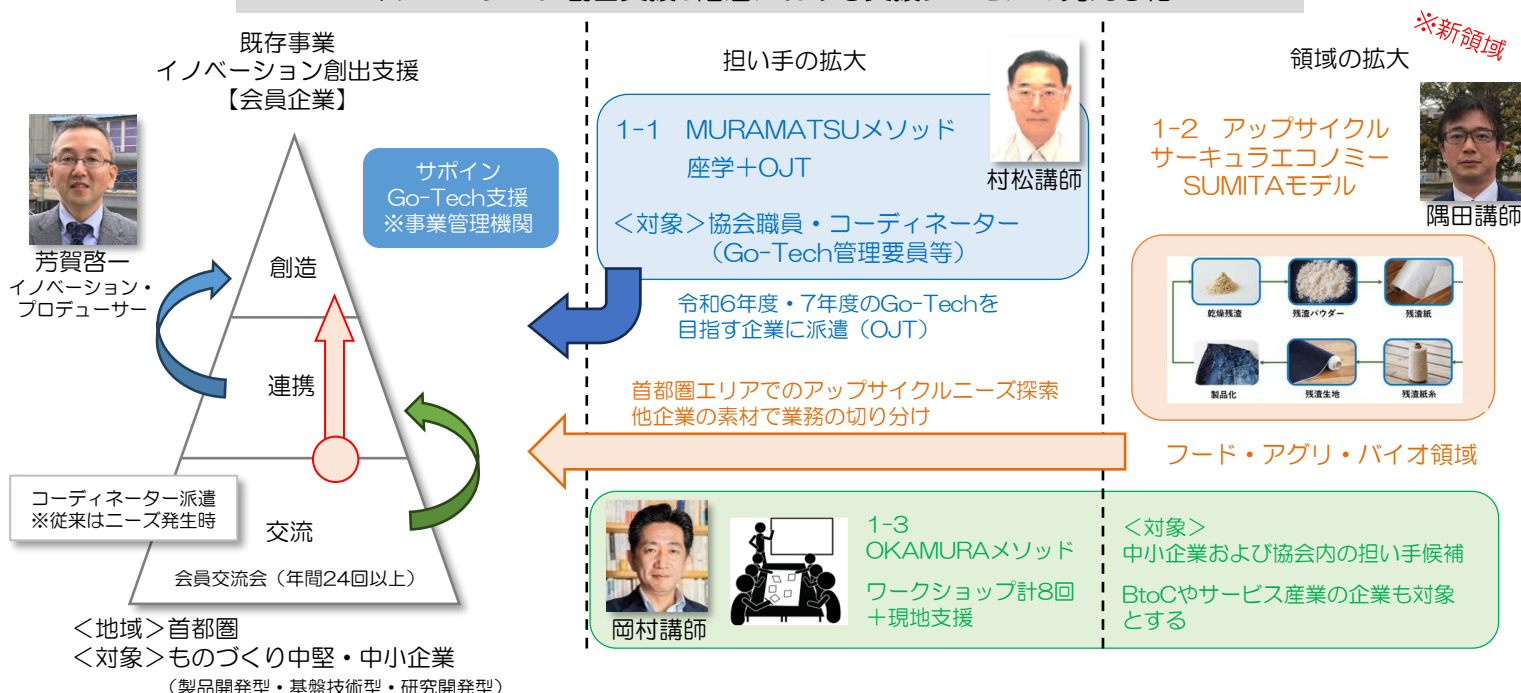


事業概要

当協会では従来より「イノベーション創出支援」の取組みとして、交流・連携・創造の3階層に分け、ものづくり中堅・中小企業を主に支援してきました（図左下）。一方で、交流から連携へ、連携から創造へとステップアップを図る上で、支援者が具体的にどのようなノウハウを活用し、市場での成功へと導いているのかについては、個々のノウハウに依存するところがあり、「支援プロセスの見える化」に課題がありました。

そのため当協会では、本事業の採択を受け、事務局長（芳賀啓一）をはじめとする3人の講師陣とチームを組成し、「活動領域の拡大」と「活動の担い手拡大」の両面から3つの実証を実施しました（図の矢印部分を参照）。

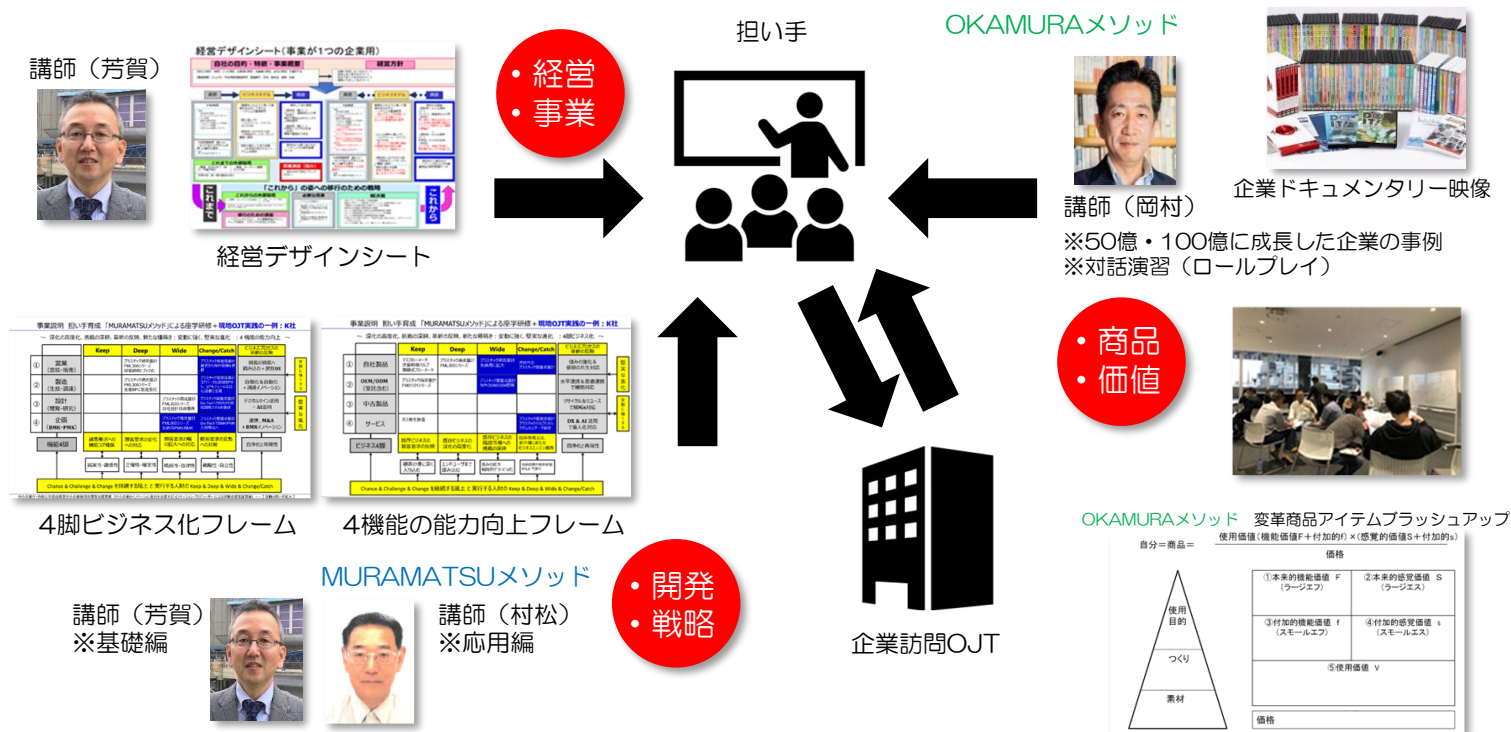
イノベーション創出支援3階層における支援プロセスの見える化



イノベーションプロデューサーの担い手拡大に向けた取り組み

本事業では、主にイノベPの担い手を対象に、①MURAMATSUメソッド座学講義、②OKAMURAメソッドワークショップ、③先行事例研究を、それぞれ180分1コマとして前期（4～8月期）と後期に4回ずつ集合研修の形式で行ない、必要に応じて支援企業にも参加していただくプログラムを提供しました。

OJTについては、講師・担い手にてチームを編成し、支援先中小企業への伴走支援を実施しました。「経営デザインシート」「4脚ビジネス化の基本フレーム」を対話の共通言語として用い、現状をヒアリング。その後、担い手を中心とした伴走支援を継続し、講師が双方をフォローを行ないました。



事業化までの支援内容

支援先企業に対して、原則月1回以上の企業訪問によるヒアリングを実施しました。また、ビジネスフレームについては、「経営デザインシート」「ビジネス4脚」「4機能の能力向上」の3点セットを作成・ブラッシュアップし、市場調査レポート等を適宜提供しました。

これら3つの基本フレームは、作成して終わりではなく、支援先企業との対話を通じ、随時更新されるべきものであり、本来ならば経営者や部門責任者の自らが作成することが理想と言われるものの、現実問題として自前で行うことは限られています。そのため、担い手はチームで協力し合いながら、基本フレームの原型を仕上げることを注力し、企業の方々は、（頭でっかちにせず）現場の実践・行動を最優先とし、イノベーション創出に専念できる環境を整えることを心掛けながら支援を行いました。



支援活動の成果と評価

活動を通じて、各社にイノベーション創出に向けた環境整備や体制の強化が図られています。

A社： 台湾企業N社とのマッチングを通じ、半導体市場参入の足掛かりを得た。

B社： Y社との共同開発に向け協議継続中。それが実現されると新市場への活路が見い出せる。

C社： アップサイクルビジネスをテーマに、産産・産学連携プロジェクト構築に向け、協議継続中。

D社： 技術部門役員（ひとり）の問題意識から、事業部の話を超えて全社一丸の体制強化に発展。

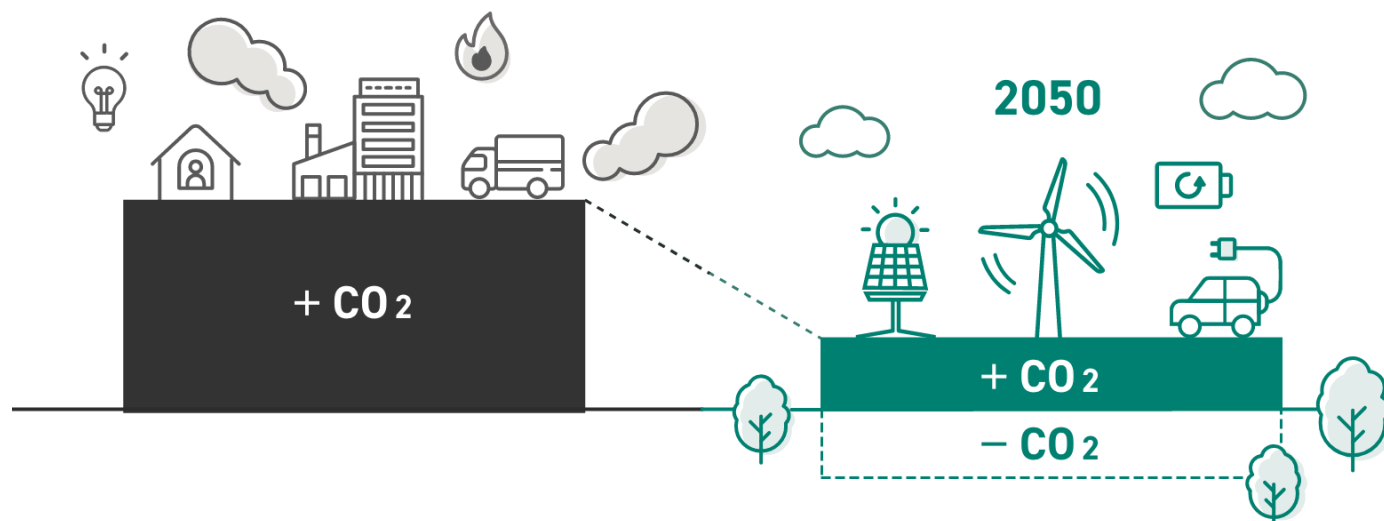
E社： 社長室長がアップサイクル部門責任者に就任。数名の部下が配置され、大手インテリア・エクステリア商材メーカーへODMの提案を継続実施。製品開発・量産・物流の面から協業体制構築に向け推進中。

カーボンニュートラル事業

■ カーボンニュートラルを取り巻く現状

2050年のカーボンニュートラル目標達成に向けて、日本は2030年までに2013年比46%の温室効果ガス排出量削減を目指しています。カーボンニュートラルに向けた取り組みは、社会経済を変革するための投資を促し、企業の成長を生み出すチャンスとして捉えられています。

産業界においてもサプライチェーン全体での排出量削減が重要とされており、自社だけでなく、取引先を含めた対策が必要不可欠となるため、中小企業においても喫緊の課題となっております。



■ SBT認証の取得支援

SBTとは、Science Based Targetsの略で、国際的な枠組みである「パリ協定」が求める水準と整合した5～10年先を目標として企業が設定する「温室効果ガス排出削減目標」の指標のひとつとなる国際的な認証制度です。

世界的に見てもSBTに参画する企業は年々増加しており、世界全体で認定企業は2,310社、2年以内に認定を取得することを表明しているコミット企業は2,304社、合計4,614社となっております。日本国内企業においては2018年以降から一定数増加を続け、認定企業369社、コミット企業69社、合計438社まで拡大しました。

これらに認定されることで「環境への意識・関心が高く持続可能な企業である」というPRと自社のビジネスモデル展開におけるリスク回避として、本年度より会員企業への取得認定支援をスタートしました。



専門家



TAMAコーディネーター
中小企業診断士
エネルギー管理士
エネルギー診断プロフェッショナル

田村 健人

支援概要

支援内容： 中小企業向けSBTの認定取得支援
・ Scope1,2排出量の算出
・ SBT認証登録に係る事務手続支援

金 額： 会員 220,000円（税込）
一般 330,000円（税込）

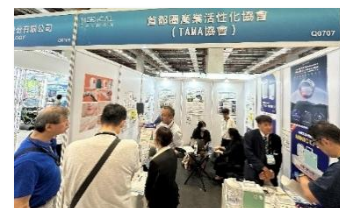
支援社数： 4社

■台湾との交流 令和6年度「日台産業協力架け橋プロジェクト助成事業」



【事業名】首都圏・台湾における高度ものづくり基盤技術を用いた新市場創出プロジェクト

【概要】埼玉・東京・神奈川および周辺を一帯とした地域（首都圏）を中心とする中堅中小企業が有する高度な基盤技術と、台湾企業が持つ経営資源との連携によるグローバル・ニッチ・トップを目指した新市場の創出および新たな分野の開拓を行いました。（連携機関：台日産業技術合作促進会）



展示会（MEDICAL TAIWAN）での商談

実施内容

- | | |
|---|--|
| (1) TAMA医療ヘルスケア産業商談会in TAIWAN（台北） | (2) 2024日台航空宇宙・防衛産業商談会（東京） |
| 日時： 2024年6月21日（金） | 日時： 2024年10月17日（木） |
| 会場： 台北南港第二展示ホール
（台湾国際医療ヘルスケア見本市
MEDICAL TAIWAN） | 会場： 東京ビッグサイト（2024国際航空宇宙展） |
| 参加： (株)ソーケンメディカル、(株)コスモテック、
(株)三幸製作所、(株)イノフィス、
(株)狭山金型製作所、台湾企業23社 | 参加： 多摩冶金(株)、(株)TOKAI精工、(株)八洋、
(株)吉増製作所、グランツテクノワークス(株)、
台湾企業3社 |
| (3) TAMA・台湾核心戦略6産業個別商談会（台中） | (4) TAMA・台湾核心戦略6産業個別商談会（八王子） |
| 日時： 2024年11月15日（金）～16日（土） | 日時： 2025年1月9日（木）～10日（金） |
| 会場： 台中国際展覧センター
台中IMC主催の展示会（GREEN TAIWAN） | 会場： 個別企業訪問（訪問先は以下※）、
東京たま未来メッセ（技術連携交流会2025） |
| 参加： (株)アドテックス、(株)オータマ、
(株)リガルジョイント、台湾企業6社 | 参加： (株)industria※、(株)協同商事※、(株)菊池製作所※、
(株)Qeight、(株)ユニテックス、(株)三電舎、
台湾企業4社 |

■台湾および海外関係機関との連携について

台 湾

- ・ 台日産業技術合作促進会 ※協会とは2023年9月に連携協定(MOU)を締結
- ・ 財団法人金属工業研究發展中心
1963年台湾政府と連合国特別基金及び国際労働機関により、高雄市に創立(1968年台湾政府へ移管)。金属及び関連工業が必要となる生産・管理技術の研究発展と普及に従事し、台湾の金属及び関連工業のレベルアップ及び世界市場における競争力強化を目指す非営利法人。※協会とは2011年にMOU締結
 - ・ 2023年より交流再開、2024年8月6日(火)・2024台日智慧医療照護創新應用工作坊交流餐会に参加
- ・ 工業技術研究院(略称:ITRI)
1973 年設立。研究者6,000名、3万件近い特許を蓄積。273社のベンチャーを育成し、その中には台積電(TSMC)、聯電(UMC)、台湾光罩、晶元光電(EPISTAR)、盟立自動化(MIRLE)も含まれる。
※2024年11月14日MOU締結
- ・ 社団法人国際工商経営研究社(略称IMC)
IMC(International Management Council)はアメリカ発祥で、1961年台湾に導入され、台湾全国の主要13都市にそれぞれIMCがある。総会員数は約2,500社で、大企業もあるがオーナー経営者の中小企業が多く、業種を問わない地域の総合経済団体。2024年11月15日(金)～16日(土) 台中IMC創立60周年「台中IMCグリーン見本市」に参加 於:台中国際展示場

韓 国

- ・ 韓国技術ベンチャー財団 (KTVF)
中小・ベンチャー企業の育成と海外進出をサポートするため韓国科学技術研究院(KIST)が全額出資して設立した財団法人※協会とは2011年にMOU締結
 - ・ 2024年10月22～23日KDB産業銀行本店で開催の「KDB TechConnect Day」への参加企業周知に協力
 - ・ 2024年12月6日 韓国中小ベンチャー企業振興公団との日本企業インタビューを実施
 - ・ 2025年2月14日 MOU再調印

■ 研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）

会員企業の研究開発、技術及び生産の革新を支援し企業が目的とした技術の開発もしくは製品を商品化し、企業経営の安定化・成長を図り、それらの波及による地域振興を目的として、従前から様々な研究開発支援事業を展開しています。

（１）各種公的助成金事業での支援

国や自治体の公的助成事業（競争的研究資金）を多くの会員企業に有効活用して頂くため、迅速な情報提供、周知→個別相談会→計画書／提案書作成支援→採択後の事業遂行の支援を行いました。

● 「研究開発支援制度説明会」開催概要

開催日時： 令和7年1月24日（金）
 ＜第1部＞13:30～15:20
 ＜第2部＞15:30～17:00

開催形式： オンライン会議システムZoom

内 容： 第1部では各種補助金申請に関する説明、
 第2部では個別の相談、申請書の作成支援を行った。

研究開発支援制度説明会

開催日 令和7年 1月24日（金） 13:30～

事前申込制 第1部 100名 第2部 6社
 Go-tech事業3社 NEDO事業3社

Zoom (オンライン配信)

一般社団法人首都圏産業活性化協会は、関東経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構を講師に迎え、主に中小企業の皆様を対象にした研究開発支援制度に関する説明会を開催します。
 第2部では、各種支援制度の担当者との個別相談会も実施します。補助金等を活用して、自社の研究開発を行うことに興味のある企業におかれては是非ご参加ください。

プログラム（第一部）

- ① 13:30～14:00（30分）
「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）について」
関東経済産業局 産業部製造産業課
- ② 14:00～14:30（30分）
「Go-Tech事業 申請書の書き方・ポイントについて」
(独)中小企業基盤整備機構 関東本部
- ③ 14:30～14:50（20分）
「Go-Tech事業 経営デザインシートの書き方・ポイントについて」
(一社)首都圏産業活性化協会
- ④ 14:50～15:20（30分）
「NEDOの研究開発成果の実用化・事業化支援事業について」
(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構

（１）支援を実施した助成事業 （支援数）

- | | |
|---------------|---|
| ① 中小企業庁 | 令和6年度成長型中小企業研究開発支援事業（Go-tech）（6件） |
| ② 経済産業省 | 令和5年度補正中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金（1件） |
| ③ 市村清新技術財団 | 第113回新技術開発助成（令和6年度第1回）（1件） |
| ④ 埼玉県 | 埼玉県次世代ものづくり技術活用製品開発費補助金（1件） |
| ⑤ 中小企業庁 | 事業再構築補助金【サプライチェーン強靱化枠／国内回帰】（第12回）（1件） |
| ⑥ 東京都中小企業振興公社 | 東京都・令和6年度TOKYO戦略的イノベーション促進事業（1件） |
| ⑦ 東京都中小企業振興公社 | 東京都 令和6年度 新たな事業環境に即応した経営展開サポート助成事業（1件） |
| ⑧ 東京都中小企業振興公社 | 東京都 第8回 躍進的な事業推進のための設備投資支援事業（1件） |

（２）採択された助成事業

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| ① 中小企業庁 | 令和6年度成長型中小企業研究開発支援事業（Go-tech）（5件） |
| ③ 市村清新技術財団 | 第113回新技術開発助成（令和6年度第1回）（1件） |
| ④ 埼玉県 | 埼玉県次世代ものづくり技術活用製品開発費補助金（1件） |
| ⑤ 中小企業庁 | 事業再構築補助金【サプライチェーン強靱化枠／国内回帰】（第12回）（1件） |
| ⑥ 東京都中小企業振興公社 | 東京都・令和6年度TOKYO戦略的イノベーション促進事業（1件） |
| ⑧ 東京都中小企業振興公社 | 東京都 第8回 躍進的な事業推進のための設備投資支援事業（1件） |

(3) 事業管理機関として支援した事業（新規4件、継続7件）

継続案件

【経済産業省 令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業】

- テーマ名 : 水環境インフラ点検に資するIoT向け省電力オール光ファイバ水位計測システムの開発
共同研究体構成 : 中核企業…(株)コアシステムジャパン（東京都）
創価大学
研究実施機関 : 令和4年度～令和6年度
- テーマ名 : 日本のカーボンニュートラルに貢献するプラスチック小部品用の超高塗着塗装技術の開発
共同研究体構成 : 中核企業…久保井塗装(株)（埼玉県）
(株)明治機械製作所、武蔵塗料(株)、東京都立大学
研究開発期間 : 令和4年度～6年度
- テーマ名 : AI駆動型の細胞解析技術を用いた、白血病の早期発見技術に関する研究開発
共同研究体構成 : 中核企業…シンクサイト(株)（東京都）
順天堂大学
研究開発期間 : 令和4年度～6年度
- テーマ名 : 生コンの品質判定のAIエッジデバイス化に関する研究開発
共同研究体構成 : 中核企業…(株)カイ（東京都）
研究開発期間 : 令和4年度～6年度

【経済産業省 令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業】

- テーマ名 : AI搭載のモデリング特化型コラボレーションツールの開発による製造業の製品・サービス設計の高度化
共同研究体構成 : 中核企業…(株)レヴィ（東京都）
大阪公立大学
研究実施機関 : 令和5年度～令和7年度
- テーマ名 : 環境負荷低減と低コスト化のための電気自動車向けコネクタ成形最適化システムの開発
共同研究体構成 : 中核企業…(株)MAZIN（東京都）
研究開発期間 : 令和5年度～7年度

新規案件

【経済産業省 令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業】

- テーマ名 : 工作機械、半導体装置の液体処理を革新的に高度化する超音波振動子を活用した浄化システムの研究開発
共同研究体構成 : 中核企業…(株)industria（埼玉県）
東京電機大学、東京工業大学
研究開発期間（予定） : 令和6年度～令和8年度
- テーマ名 : 超微量流体の高精度質量流量計測を実現するオールプラスチック製コリオリ質量流量計の研究開発
共同研究体構成 : 中核企業…コフロック(株)（京都府）
(株)AlphiTechnology、東京工業大学
研究開発期間（予定） : 令和6年度～令和8年度
- テーマ名 : 自動運転の安全性に寄与する独自カーボンナノファイバーを用いた電波吸収材料の開発
共同研究体構成 : 中核企業…(株)アルメディオ（東京都）
東京大学
研究開発期間（予定） : 令和6年度～令和8年度
- テーマ名 : 機能性微細構造を持った高付加価値3Dプラスチック射出成形品の技術開発
共同研究体構成 : 中核企業…池上金型工業(株)（埼玉県）
産業技術総合研究所
研究開発期間（予定） : 令和6年度～令和8年度
- テーマ名 : 次世代技術に貢献する高品質機能化グラフェンとその革新的製造技術の開発
共同研究体構成 : 中核企業…(株)常光（東京都）
研究開発期間（予定） : 令和6年度～令和8年度



■ 技術経営大学

技術を経営資源とする企業のテクノロジーとマネジメントに精通した人材育成を行っていくため、各種団体や大学等と連携して「ものづくり人材育成プログラム“技術経営大学”」を実施しました。

(1) 合同新人研修

「周囲との連携」「相互信頼」をテーマに、オンラインでの新入社員研修を開催しました。社会人、プロフェッショナル人材への第一歩として必要なマナーやコミュニケーション、ものづくり企業で働くための基礎を地域の同期と合同で学習していただきました。

開催日時： 令和6年4月2日（水）～4日（金） 10:00～17:00
会 場： 東京たま未来メッセ 第5会議室
（東京都八王子市明神町3-19-2）
対 象： 令和6年度 新入社員～社会人3年目までの方
講 師： (株)KIBI 上級研究員 見附 誠子
TAMAコーディネーター 横山 勝治
参加者数： 8社19人



● フォローアップ研修



令和5年4月に実施した「合同新人研修」にご参加頂いた方を対象に、フォローアップ研修を開催しました。実際に働き始めた中で得た成功体験や疑問点・不明点を共有し合い、今後の活躍に結び付けて頂く事を目的として研修を実施しました。

開催日時： 令和6年10月25日（金） 13:00～17:00
会 場： 東京たま未来メッセ 第4会議室（東京都八王子市明神町3-19-2）
内 容： 新人研修の振り返り・目標設定・機微力の定着化・同期との関係性構築

(2) 令和7年入社対象者の為の内定者合同フォロー研修

地域企業の令和7年入社予定の内定者を対象に、社会で生き抜くタフさを身に着けるためのフォロー研修を開催しました。10月からスタートし、毎月の継続した研修により「内定者の状況把握」や「企業とのつながり」を深め、内定辞退や入社後の早期退職防止のサポートをしました。また参加企業様横断の人事担当者ミーティングも実施することにより、意見交換を通じて自社の体制づくりを考察いただきました。

開催日時： 担当者事前ガイダンス 令和5年9月21日（木） 11:20～11:50

- 講座① 令和6年11月 1日（金） 15:00～17:00
- 講座② 令和6年11月21日（木） 15:00～17:00
- 講座③ 令和6年12月16日（月） 15:00～17:00
- 講座④ 令和7年 1月15日（水） 15:00～17:00
- 講座⑤ 令和7年 2月13日（木） 15:00～17:00
- 講座⑥ 令和7年 3月14日（金） 15:00～17:00

担当者振り返りガイダンス：2024年3月21日（木） 15:30～16:45

講 師： (株)KIBI 上級研究員 見附 誠子

参加者数： 3社5人



カリキュラム		
社会人とは ・人と交わって仕事が成立することへの理解	想定と現実のギャップを乗り越えるヒント ・ギャップをイメージする ～その我慢や忍耐は未来につながるのか～ ・視界と視座の展開手法 ・マイルールの設定	自分のキャリアを考える ・自分史（マイキャリアシート）の作成 ・入社後のキャリアプランイメージ ・強みを理解し発揮のパターンを捉える ・弱みを理解しコントロールする
関係性構築とコミュニケーション土台作り ・コミュニケーションとは ・自分のコミュニケーション特徴を理解する（機微力検定フィードバック） ・Youメッセージ×Iメッセージ ・ビジネスで使える雑談力を身につける ・教えてもらう場を自らつくる	ストレスの構造を知り環境変化に対応する準備を行う ・ストレスとは ・ストレス測定 ・ストレスマネジメント ・入社までに心と体のコンディションを整える	

(3) イノベーション・チーム・プログラム

協会では、「経営デザインシート」を活用した『未来を描くワークショップ』＋専門家派遣、中小企業庁「イノベーション・プロデューサー事業」の受託を通じたご支援の実践ノウハウを結集し、「売上UP」「販売力強化」「商品差別化」「競争優位の獲得」を目的に、『人と商品』にフォーカスし、創発型の伴走支援プログラムを企画しました。

【実施時期・会場】

- ・ 第1回 2024年 6月29日(土)13:30～16:40 オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館
- ・ 第2回 2024年 9月 7日(土)10:00～13:10 東京たま未来メッセ 会議室
- ・ 第3回 2024年12月 7日(土)10:00～13:10 東京たま未来メッセ 会議室
- ・ 第4回 2025年 2月 8日(土)10:00～16:50 首都圏産業活性化協会 会議室

【講師】 岡村 衡一郎 (㈲経営コンサルティングアソシエーション 取締役社長)

業種・企業の規模を問わず業績向上をリードし、モチベーションの源となる「一品」づくりを行なう。支援企業の多くは、売上過去最高記録を更新。著書に『会社に眠る財産を掘り起こせ』（朝日新聞社）、『「一品」で会社を変える』（東洋経済新報社）等あり。

【受講者の声】

- ・ イノベーションは誰もが実現できる可能性を持っている。まずはやってみることが大事。(製造業A氏)
- ・ 一品を考える上で、自分の人生が関わることにとても驚いた。(建設業B氏)
- ・ 他の業界を知る事が、新商品開発のきっかけになるとは思ってもみなかった。(建設業B氏)
- ・ ネーミングによる商品の定義づけ、仕組みに変革が起こることを体感した。(建設業C氏)
- ・ マーケティングという言葉は使わず、自分が提供できる効果や価値が重要とわかった。(サービス業D氏)
- ・ グレード表を作成し、顧客提案できるようになった。(金属加工業E氏)
- ・ 社内の受注・逸注例を書き出し、成功・失敗の要因を浮かび上がらせることに成功した。(製造業F氏)
- ・ あらためて当社の「イノベーションの源泉」は設計開発者にあると気付いた。(製造業F氏)

TAMAコーディネーター制度

■ TAMAコーディネーター

当協会では、中小企業診断士、技術士、弁理士、公認会計士、税理士、社会保険労務士ほか、大手企業OBなど多様なスキルをもつ約130人の専門家を「TAMAコーディネーター」として登録しています。

TAMAコーディネーターは、企業の課題解決や競争力向上のため、様々な個別支援を行うほか、協会のスタッフとして、事業プログラムの企画や進行管理、協会主催のセミナー講師など、会員へのサービス提供のため、事務局とともに幅広く活躍しています。

課題を持つ企業などがコーディネーターの皆様を探索し、ご相談しやすい仕組み作りを構築するために、Web公開希望をされたコーディネーターの方をホームページへ掲載しています。



TAMAコーディネーター
ご紹介ページ

コーディネーター保有資格

資 格
中小企業診断士
技術士
弁護士
弁理士
公認会計士・税理士
ITコーディネータ
社労士、経営士、その他

<活動例>

- IoT導入ハンズオン支援
- 経営デザインシート作成支援
- シニア人材個別マッチング
- 展示会マッチングサポート
- 共同研究プロジェクト等のプロジェクトマネジメント・コーディネーター
- 協会主催セミナー等の講師紹介
- カーボンニュートラルに関する支援
- 補助金・助成金申請に関する支援
- 各種認証取得に関する支援

■ 会報誌「つなぐWa TAMA経済NEWS」



当協会の取組や会員の企業・大学・自治体・商工団体・金融機関・専門家の紹介、国等の施策紹介など、会員の皆さまからの情報をお届けしています。

2023年5月より、かながわ経済新聞のご協力のもと、会報誌「つなぐWa TAMA経済NEWS」を発行しております。2024年7月からは隔月の発行へ変更しました。

「ミライへつなぐ」のコーナーは産学連携に加えて協会の活動内容をご案内しています。

発行ナンバー： No.43（2024年4月発刊） ～ No.50（2025年3月発刊）

発行方法： ① 紙媒体 1,000 部
（会員への配布、かながわ経済新聞への折込み、関係機関の設置ポイント）

② 電子メール配信 1,000 通（会員一斉配信、職員による個別配信）



会報誌アーカイブ



■ ホームページによる情報提供

企業・大学の製品・技術を横断的に検索可能なカスタム検索エンジン、協会が発行する冊子の電子ブック版、ワザ自慢企業の動画コンテンツなどを掲載しています。

製品・技術PRレポートページ

(<https://www.tamaweb.or.jp/report-2>)

MOVIEページ

(<https://www.tamaweb.or.jp/tama-video>)

技術研究レポート



企業のコア製品・技術がひとめでわかる「製品・技術PRレポート」が1,700社以上、大学のシーズや企業との連携希望内容をまとめた「大学技術工房」が600以上登録されており、キーワードによる検索も可能です。



開催イベントのご案内の他、会員一覧、TAMAコーディネーターのご紹介、会員紹介動画、イベントお見逃し動画配信を掲載しています。

■ 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供

協会支援メニューや主催事業だけでなく、国・都県や支援機関等の補助金情報や支援施策・セミナー情報、官公庁などが発表する統計情報やニュース、また会員からの情報をタイムリーに発信しています。

※受信をご希望の場合は、事務局（info@tamaweb.or.jp）へご連絡ください。

■ 自治体地域産業政策勉強会

自治体が産業振興・企業支援を行うにあたり、地域中小企業の実態と行政や地域に求めるニーズを把握するため、施策や事例を学び、自治体間のネットワークを構築・強化する目的で自治体産業振興担当者を対象に自治体地域産業政策勉強会を開催しました。引き続き、関東経済産業局、特別区長会との共催として、特別区（東京23区）の実務担当者を対象とした「産業振興セミナー」と合同開催し、より広域的な自治体間の交流やネットワークの形成に資する会として実施しました。

<第14回>

開催日時： 令和6年7月24日（水）14:00～17:00
会場： 東京区政会館 20階 205会議室（東京都千代田区飯田橋3-5-1）
テーマ： 自治体による「中小企業のDX推進支援とは」
～既存の産業支援施策はDX推進支援につながる？～



<創業支援施設見学会>

開催日時： 令和6年11月25日（月）10:00～15:30
会場： 【午前】(株)浜野製作所（東京都墨田区八広4-39-7）
【午後】墨田区産業共創施設「SUMIDA INNOVATION CORE(SIC)」
（東京都墨田区錦糸4-17-1 ヒューリック錦糸町コラボツリー4F）
テーマ： 産業支援施設見学会・意見交換会



<第15回>

開催日時： 令和7年1月21日（火）14:00～17:00
会場： 東京たま未来メッセ 3階 第2会議室（東京都八王子市明神町3-19-2）
テーマ： 地域で取り組む事業承継支援のカタチ
～経営支援をベースとする事業承継支援体制づくり～



■ 自治体受託事業

(1) 狹山市中小企業経営支援相談業務（狹山市より受託）

狹山市より委託を受け、市内中小企業の市場競争力を高めるため、各社個別のニーズに基づく支援や指導を行いました。

業務件名： 中小企業経営支援相談委託
業務期間： 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
内容： ①新製品開発、既存製品の改良に関する技術指導 ②産学官連携の仲介 ③公的助成金の紹介、手続きの指導 ④特許出願の手続きの指導等 ⑤その他経営に関する総合的な指導
実績： 支援社数：4社 支援回数：22回
・ものづくり補助金・小規模事業者持続化補助金のご案内および申請企業への指導・助言
・経営体制構築などの指導、助言
・事業承継に関する相談先の調査、フォローアップ
・公設試の研究情報に関する技術情報の提供
・特許出願についての指導、助言他

(2) 日野市ものづくり企業事業拡大支援業務（日野市より受託）

日野市内のものづくり企業の振興について、企業の利益創出に資する成長産業参入、生産性向上、社会環境変化への対応、経営革新などに係る知識、技術などを提供し、企業の事業拡大の契機創出及び加速を図る業務を行いました。

業務件名： ものづくり企業事業拡大支援業務
業務期間： 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
内容： ①企業訪問及びヒアリング（企業が抱える課題や要望など）
②訪問後は業務日誌の作成
③訪問者数は15社/年以上
支援社数： 16社
内容： 企業の差別化要因、新製品開発・新規事業化、事業継続、補助金・助成金の利活用、人材（確保）、展示会、産学連携、特許申請、企業の魅力PRレポート 提案（修正含む）

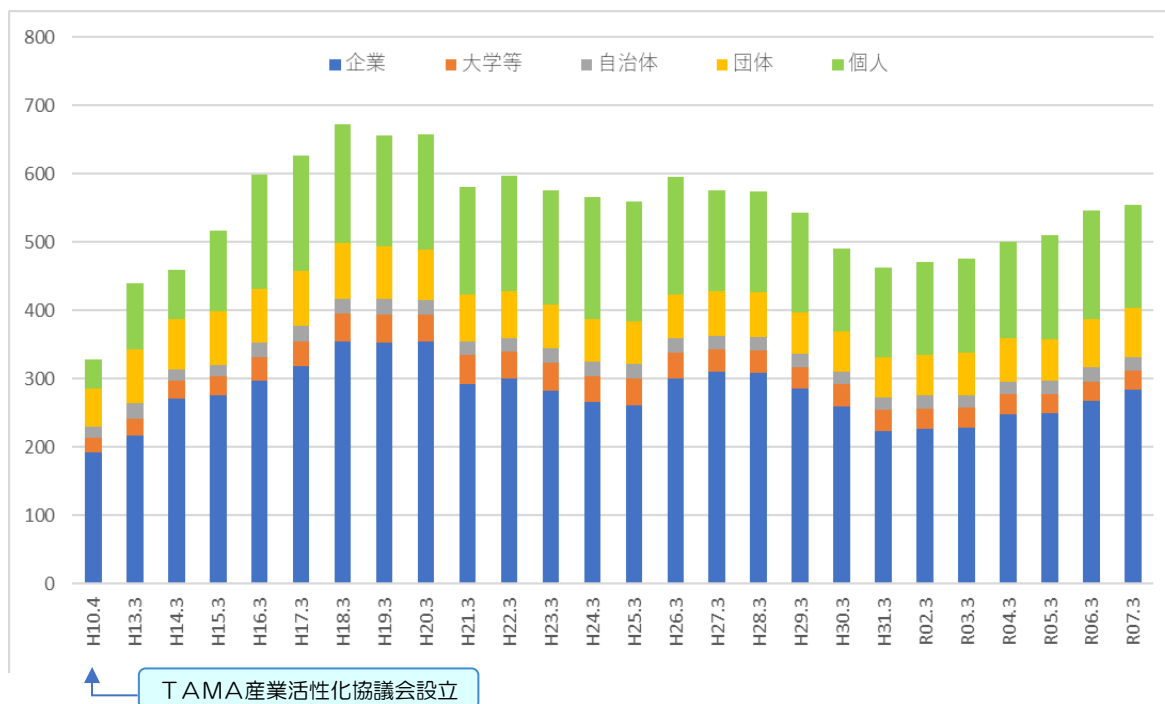
■ 国内支援機関等との交流

地域 ・ 団体	交流内容
一般社団法人日本自動車部品工業会	特別会員として参画
八王子商工会議所	一般会員として参画
一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター (AREC)	賛助会員として参画
公益社団法人八王子法人会	会員として参画
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム	三号会員（民間企業等）として参画
一般財団法人製造科学技術センター (IAF)	情報会員として参画
東京都	多摩イノベーションエコシステム実行委員会 幹事会
神奈川県	さがみロボット産業特区 重点支援プロジェクト支援委員会委員
所沢市	都市型産業等育成補助金審査員
	所沢市産業振興ビジョン推進会議 委員
羽村市	羽村市産業振興計画懇談会委員
芝浦工業大学	COC事業外部評価委員会
東京農工大学	卓越大学院プログラム 連携機関
	全国ダイバーシティネットワーク組織東京ブロック委員
東京都立大学	TAMA LEAP運営委員
狭山商工会議所 IMT会議	狭山市中小企業経営支援相談員
公益社団法人八王子観光コンベンション協会	MICE委員会委員
Forbes JAPAN	スモール・ジャイアンツ アワード アドバイザリーボード
青梅線沿線地域産業クラスター協議会	事務局会議に参画

データで見る会員の推移と現状

今年度は、総体として昨年度末より会員数は増加しました。企業会員数は昨年度の267社から284社へ増加しています。今後も会員様への支援を尽力して参ります。引き続き、地域活性化、発展のため、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

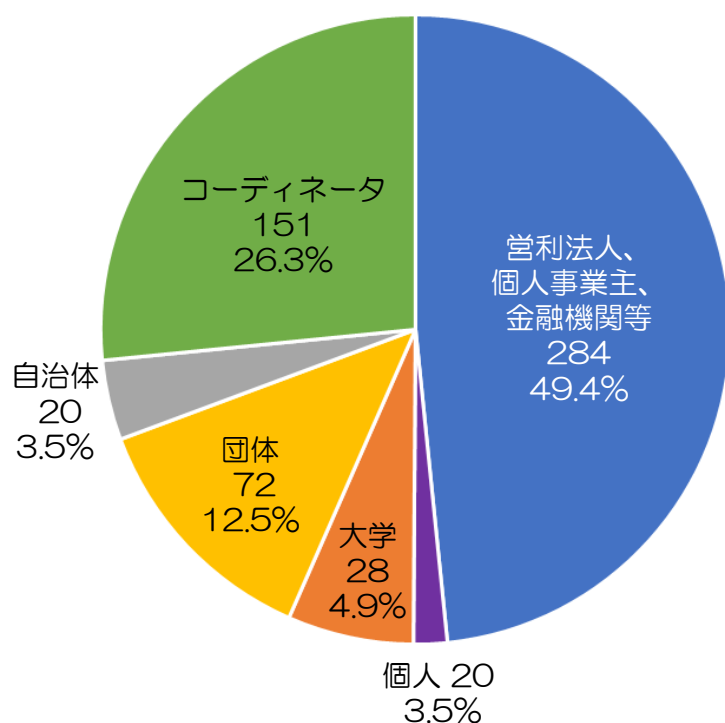
(1) 会員数の推移（平成10年度～令和6年度）



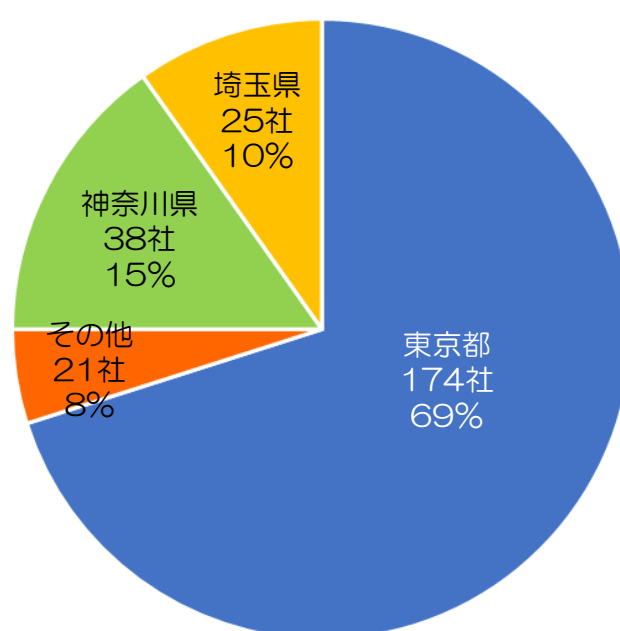
	会員数
平成10年4月	328
平成13年3月	440
平成14年3月	447
平成15年3月	517
平成16年3月	599
平成17年3月	629
平成18年3月	672
平成19年3月	656
平成20年3月	658
平成21年3月	578
平成22年3月	597
平成23年3月	576
平成24年3月	565
平成25年3月	560
平成26年3月	595
平成27年3月	576
平成28年3月	574
平成29年3月	543
平成30年3月	490
平成31年3月	463
令和2年3月	470
令和3年3月	476
令和4年3月	501
令和5年3月	510
令和6年3月	546
令和7年3月	555

平成10年4月のTAMA産業活性化協議会設立時総会員数328（うち企業会員193社）でスタートし、令和6年度末には総会員数555（うち企業会員284社）となっています。

(2) 会員の構成

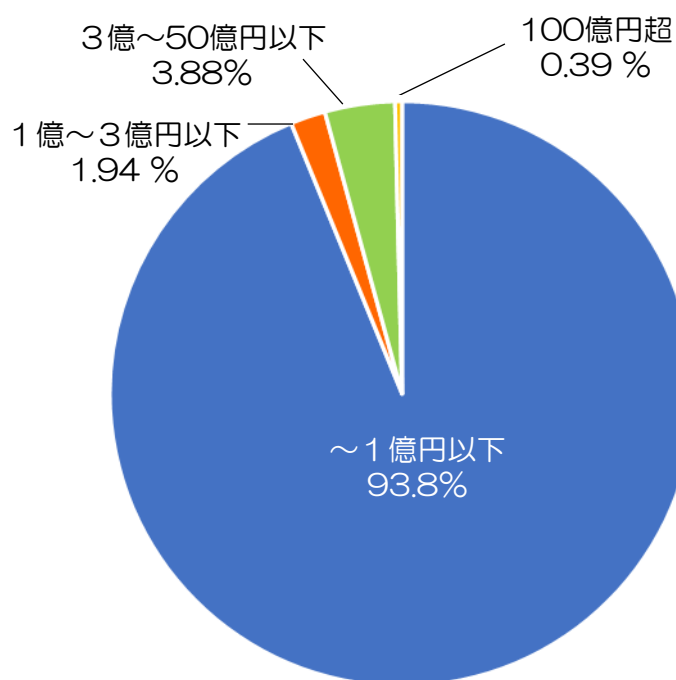


(3) 都道府県別企業会員数



令和7年3月末現在（総数＝555）

(4) 資本金別企業会員分類

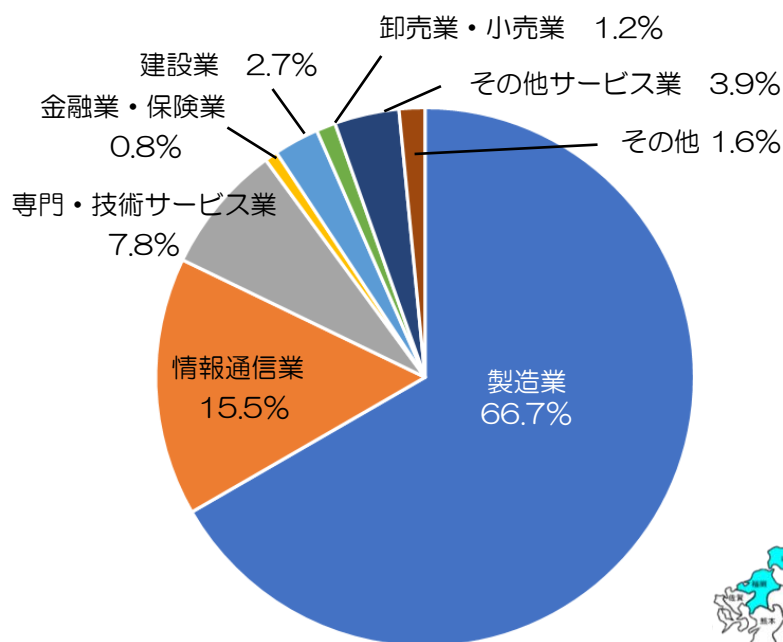


(5) 市区町村別企業会員数（トップテン）

No.	市区町村別	会員数
1	八王子市	24
1	相模原市	24
3	千代田区	13
4	青梅市	12
4	西多摩郡	12
6	羽村市	11
7	立川市	9
8	横浜市	9
9	昭島市	8
10	中央区	8

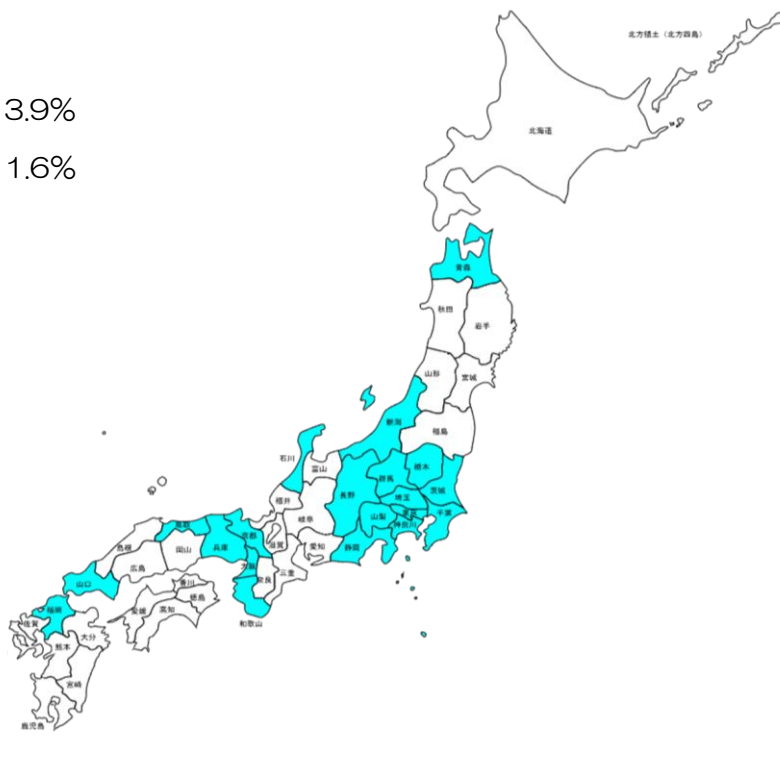
※上位10市区町村での企業会員合計130
(企業会員全体の45.7%)

(6) 業種別企業会員分類



※日本標準産業分類にもとづく
(令和6年度末 企業会員総数=284)

(7) 会員所在分布図（都道府県別）



企業会員を見ると、資本金3億円以下の中小企業が全体の約95.74%を占めています。

業種は製造業が全体の66.7%を占め、情報通信業(IT関連)が15.5%、次いで専門技術サービス業が7.8%、その他サービス業が3.9%となっています。今後も、更なる充実したネットワーク構築を目指します。

◎ 年 表 ◎

■ 上半期

	全体事業	イノベーション創出	企業支援・政策推進	人材育成	ネットワーク強化
4月	会報誌発行no.43			2-4 合同新人研修 (八王子会場)	22 つなぐWaSession Global 24 青梅線沿線地域産業ク ラスタ協議会
5月	会報誌発行no.44 17 第1回理事会 23 第2回ゴルフコンペ		21 サイバーセキュリティ対 策入門セミナー		8 第48回 つなぐWaSession 14 さがみロボット産業特 区協議会 17 つなぐWaSession (第41回はむらイブニン グサロン)
6月	会報誌発行no.45 20-22 MEDICAL TAIWAN 2024出展 28 通常総会、会員交流会	21 TAMA医療ヘルスケア 商談会in TAIWAN (台北)		29 イノベーション・チ ーム・プログラム セミナー①	
7月	会報誌発行no.46	8 埼玉ロボネット分野別研 究会(物流・搬送編)	4 生成AI活用による業務改善 セミナー		2、12 青梅線沿線地域産業 クラスタ協議会 24 自治体地域産業政策勉 強会⑭
8月			23 サイバーセキュリティ 対策入門セミナー		26 つなぐWaSession Global
9月	会報誌発行no.47 27 第2回理事会	10 埼玉県ロボティクスセ ミナー 介護・福祉編 18 スマートファクトリー Japan2024		7 イノベーション・チ ーム・プログラムセ ミナー②	19 つなぐWa Session 昭島イブニングサロン 27 第49回 つなぐWaSession

■ 下半期

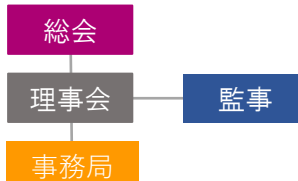
	全体事業	イノベーション創出	企業支援・政策推進	人材育成	ネットワーク強化
10月		16 2024国際航空宇宙展 17 2024日台航空宇宙・ 防衛産業商談会(東京) 23-24 新技術創出交流会 31 埼玉県ロボティクスセ ミナー(介護・福祉編)			28 つなぐWaSession Global
11月	会報誌発行no.48	15-16 TAMA・台湾核 心戦略6産業個別商談会 (台中)		1 内定者合同フォロー研 修① 21 内定者合同フォロー 研修②	22 第50回 つなぐWaSession 25 自治体地域産業政策勉 強会(創業支援施設見学 会)
12月		2 埼玉県「ロボット関連技 術PRカード」を活用した マッチング商談会 13 TAMA技術連携交流会 @KISTEC		7 イノベーション・チ ーム・プログラムセ ミナー③ 16 内定者合同フォロー 研修③	23 つなぐWaSession Global 4-6 新ものづくり・新サー ビス展2024
1月	会報誌発行no.49 10 第3回理事会・新春講演 会・賀詞交歓会、及び 令和6年度イノベーショ ン・プロデューサー事 業報告会	10 TAMA技術連携交流会 @八王子 10 TAMA・台湾核心戦略 6産業個別商談会 (八王子)	22 中小企業支援セミナー① 「カーボンニュートラル」 24 研究開発支援制度説明会 27 中小企業支援セミナー② 「介護×テクノロジー未病 産業」	15 内定者合同フォロー 研修④	17-18 第2回たま未来産 業フェア 21 自治体地域産業政策勉 強会⑮ 22-23 彩の国ビジネスア リーナ2025
2月		5-7 テクニカルショウヨ コハマ2025 19 埼玉ロボネット分野別 研究会 介護・福祉編 ②	19 中小企業支援セミナー③ 「スマートモビリティ」 27 中小企業支援セミナー④ 「半導体産業動向」	8 イノベーション・チ ーム・プログラムセ ミナー④ 13 内定者合同フォロー 研修⑤	21 第42回はむらイブニン グサロン 25 つなぐWaSession Global
3月	会報誌発行no.50 14 第4回理事会		4 中小企業支援セミナー⑤ 「価格転嫁交渉」 10 中小企業支援セミナー⑥ 「カーボンニュートラル対 策」 18 中小企業支援セミナー⑦ 「サイバーセキュリティ」 24 中小企業支援セミナー⑧ 「カーボンニュートラル」	14 内定者合同フォロー 研修⑥	13 つなぐWaSession 特別編 28 第51回つなぐ WaSession

■ 役員 ※令和7年3月末現在

会長	特定非営利活動法人新都心イノベーションパートナーズ 代表理事、摂南大学経済学部 教授 野長瀬 裕二	
副会長	株式会社イチカフ 代表取締役副社長	市川 敦士
副会長	株式会社イノウエ 代表取締役社長	井上 毅
副会長	株式会社industria 代表取締役社長	高橋 一彰
理事	電気通信大学 産学官連携センター長 教授 大須賀 昭彦	アイフォーコムホールディングス株式会社 代表取締役社長 加川 広志
理事	八王子商工会議所 会頭 檜崎 博	久保井塗装株式会社 代表取締役 窪井 要
理事	第一合成株式会社 代表取締役 河野 良子	株式会社ユニテックス 代表取締役社長 小杉 恵美
理事	DATAビジネス株式会社 会長 昆 凡子	株式会社アドテックス 代表取締役社長 佐藤 弘男
理事	相模原商工会議所 会頭 杉岡 芳樹	相模原市 環境経済局 経済担当部長 高野 弘明
理事	株式会社ムーテック35 代表取締役 谷口 栄美子	株式会社キャリア・ママ 代表取締役 堤 香苗
理事	羽村市 産業環境部長 西尾 洋介	一般社団法人首都圏産業活性化協会 事務局長 芳賀 啓一
理事	八王子市 産業振興部 部長 平塚 裕之	東京農工大学 学長特任補佐・教授 古田 裕志
理事	株式会社ミラック光学 代表取締役 村松 洋明	東京都中小企業振興公社 専務理事 矢田部 裕文
理事	多摩冶金株式会社 代表取締役副社長 山田 真輔	東京都立大学 教授 学長補佐(研究) 産学公連携室長 楊 明
監事	株式会社ソーケンメディカル 代表取締役社長 石渡 弘美	株式会社コスモ計器 取締役会長 古瀬 智之
参与	株式会社井口一世 代表取締役 井口 一世	武州工業株式会社 相談役、青梅商工会議所 副会頭 林 英夫

■ 組織 ※令和7年3月末現在

- 理事：24人（会長1人・副会長3人）
- 監事：2人 ■ 参与：2人



■ 形態区分／初年度月会費・年会費のご案内

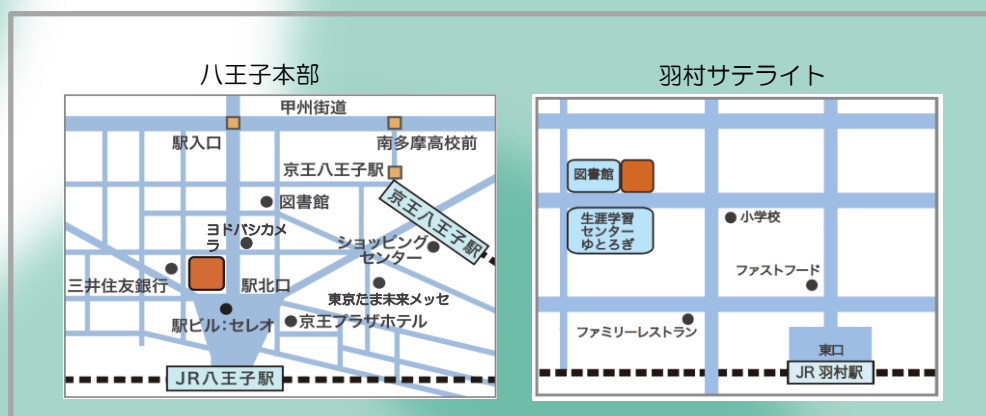
※令和6年7月改訂

※初年度の月会費は、入会日の月初より起算

会員種別	区 分	資 本 金 等	初年度月会費※	年 会 費
正会員	営利法人等	50億円超	42,500 円	350,000 円
		3億円超50億円以下	17,000 円	140,000 円
		1億円超3億円以下	12,750 円	105,000 円
		1億円以下	8,500 円	70,000 円
	個人事業主等	個人事業主、起業準備中の個人・創業5年以内の営利法人	4,250 円	35,000 円
	教育機関	教育機関・在日公館・通商機関・政府機関	1,000 円	10,000 円
	商工団体	—	1,000 円	10,000 円
	金融機関	—	14,000 円	140,000 円
	公益法人等	社団法人・財団法人・特殊法人、第3セクター	1,000 円	10,000 円
	中小団体	—	2,000 円	20,000 円
	地方公共団体	製造品出荷額等5,000億円以上	3,000 円	30,000 円
		製造品出荷額等5,000億円未満	1,000 円	10,000 円
	個人	—	1,000 円	10,000 円
賛助会員	営利法人等	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県に拠点を持たない営利法人	3,500 円	35,000 円
		中小企業以外 ※中小企業基本法第二条の範囲外 ※その他大企業相当の企業も含む	10,000 円	100,000 円
		小規模特例枠/従業員4名以下	2,000 円	20,000 円
	事業協力団体等	—	—	—

■ 入会申込書はホームページからダウンロード可能です。
<https://www.tamaweb.or.jp/about/guidance>





一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）
Technology Advanced Metropolitan Area
<https://www.tamaweb.or.jp>

八王子事務所 〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11F
TEL : 042-631-1140 FAX : 042-631-1124
羽村サテライト 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2丁目11-1 羽村市産業福祉センター内
TEL : 042-570-3481 FAX:042-570-3482
相模原サテライト 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21 SIC-1 Desk10